

※ 本内容は現時点での予定です。
(文部科学省の「『大学入試英語成績提供システム』参加試験ニーズ調査」等を踏まえて今後変更となる可能性があります。)

2020年度（2021年度入学者選抜）より導入される「大学入試英語成績提供システム」に参加予定の資格・検定試験概要①

「大学入学共通テスト実施方針」（平成29年7月文部科学省公表）では、高等学校学習指導要領における英語教育の抜本的改革を踏まえ、大学入学者選抜においても「聞く」「読む」「話す」「書く」の4技能を適切に評価するため、共通テスト（注）の枠組みにおいて、現に民間事業者等により広く実施され、一定の評価が定着している資格・検定試験を活用することとされました。これを具体化するための仕組みとして、独立行政法人大学入試センター（以下「センター」という。）において「大学入試英語成績提供システム」が設けられることになりました。本表は、平成30年3月にセンターにおいて一定の参加要件を満たすことが確認された資格・検定試験の概要です。（センターホームページ参照：http://www.dnc.ac.jp/news/20180326-02.html）
(注) 実施方針では、大学入試センター試験に代わる新たなテストとして、平成32年度（平成33年度入学者選抜）から「大学入学共通テスト」を実施することとされています。

試験名		実施主体名	目的・特長等		成績提供システムにより大学に提供される成績情報 ※CEFR対照表は別紙1参照。		
			主な目的	特長	CEFR段階(総合)	スコア(総合)注1)	特記事項
ケンブリッ ジ 英語検定 (Cambridge English Qualifications)	C2 Proficiency	Cambridge Assessment English (ケンブリッジ大学英語検定 機構)	学習者が実生活のさまざまな状況でのコミュニケーションのために英語をどのように使うことができるかを評価する。国際通用性が高く、高等教育機関への扉を開き、就業の機会を高め、勉学や仕事の選択肢を広げていく。 ※(補足) 「For Schools」は、主に成人学習者を対象とする B2 First / B1 Preliminary / A2 Keyと同じ形式かつレベルのテストであり、中高生の経験及び関心に適切な内容に対応した試験となっている。	海外の大学・大学院への進学、あるいは海外で就業する際に必要な英語力を測定することを目的とする。 海外の大学への進学準備コースを受講する、あるいは英語を話す環境で働き始めるのに必要な英語力までを測定することを目的とする。 日常的に用いる英語をどれだけ学習したかを測ることが意図された出題である。検定教科書の目標に合致した内容となっている。 日常的に用いる英語をどれだけ学習したかを測ることが意図された出題である。検定教科書のコミュニケーション英語1および英語表現1の目標に合致した内容となっている。	C1～C2	180-230	※技能別のスコアも提供される。 ※Cambridge English スケールのスコア80～230は1(点)刻み。 ※併せて各級毎の可否も提供する。[別紙A] <Pass(合格)の下限> ・C2 Proficiency:200以上 ・C1 Advanced:180以上 ・B2 First(for Schools含む):160以上 ・B1 Preliminary(for schools含む):140以上 ・A2 Key(for schools含む):120以上
	C1 Advanced				B2～C2	160-210	
	B2 First				B1～C1	140-190	
	B2 First for Schools						
	B1 Preliminary						
	B1 Preliminary for Schools				A2～B2	120-170	
	A2 Key				A1～B1	100-150	
A2 Key for Schools							
英検	S-Interview	公益財団法人 日本英語検定協会	英語圏における社会生活（日常・アカデミック・ビジネス）に必要な英語を理解し、使うことができるかを評価する。 ・大学入試における活用→361校 ・高校及び高専における入試・単位認定等の活用→1284校 ・中学校における入試・単位認定等の活用→59校 (2018年優遇校調査延べ数) ・海外留学における活用(2017年度時点) →アメリカ、オーストラリア、カナダ等、約370の海外大学が認定	S-Interview		※技能別のスコアも提供される。技能別のCEFRについても2020年度に向けて提供を検討中 ※併せて各級毎の可否も提供する。 <合格の下限> ・1級:2630以上 ・準1級:2304以上 ・2級:1980以上 ・準2級:1728以上 ・3級:1456以上 ※各級ごとにCEFRとの対照関係として測定できる能力の範囲が定められている。当該範囲を下回った場合にはCEFRの判定は行われず、当該範囲を上回った場合には当該範囲の上限に位置付けられている CEFRの判定が行われる。 ※[英検の品質についての考え方・活用ガイドライン]参照 http://www.eiken.or.jp/eiken/exam/itemguideline.html ※2019実施方針は以下リリース参照 http://www.eiken.or.jp/eiken/info/2018/pdf/20181207_pressrelease_2019eiken.pdf	
	1級			B2～C1	0-3400		
	準1級			B1～B2	0-3000		
	2級			A2～B1	0-2600		
	準2級			A1～A2	0-2400		
	3級			A1	0-2200		
	S-1 day			S-1 day			
	準1級			B1～B2	0-3000		
	2級			A2～B1	0-2600		
	準2級			A1～A2	0-2400		
	3級			A1	0-2200		
	CBT			CBT			
	準2級			A2～B1	0-2600		
	準2級			A1～A2	0-2400		
	3級			A1	0-2200		
GTEC	Advanced	株式会社 ベネッセコーポレーション	英語によるアカデミック（CBT/Advanced/Basic/Core）・ジェネラル（Advanced/Basic/Core）な状況におけるコミュニケーション能力を測る。	「聞く」「読む」「話す」「書く」の4技能をスコア型の絶対評価で測定。スピーキングとライティングは、「英語話者の視点」による採点を行っている。海外大学の入学等へも活用されている。	A1～B2	0-1280	※技能別のスコア及びCEFRも提供される。 Council of Europeが公表している手法に基づきCEFRとの対応関係を検証。その検証において各技能の各CEFRレベルにおける閾値スコアを判定しているため、技能ごとにCEFRレベルとの対応関係の把握が可能。また、スコア型の検定として各技能の閾値スコアを算出し、4技能総合の閾値スコアも示している。
	Basic				A1～B1	0-1080	
	Core				A1～A2	0-840	
	CBT				A1～C1	0-1400	
IELTS (対象:「アカデミック・モジュール」)	British Council	英語を用いたコミュニケーションが必要な場所において、就学・就業するために必要な英語力があるかを評価する。	・世界140カ国、10,000機関が認定し年間受験者が300万人以上の世界最大級の4技能を測定する英語能力テスト。高等教育機関への入学・留学、就業にグローバルで活用されている ・国内において高校及び大学約90校が団体受験 ・国内の大学において約140大学が入試にて採用	B1～C2	0.0-9.0 ※0.5刻み	※技能別のスコアも成績提供される。	
IELTS (対象:「アカデミック・モジュール」)	IDP:IELTS Australia	英語を用いたコミュニケーションが必要な場所において、就学・就業するために必要な英語力があるかを評価する。	世界140カ国、10,000機関が認定し年間受験者が300万人以上の世界最大級の4技能を測定する英語能力テスト。高等教育機関への入学・留学、就業にグローバルで活用されている。	B1～C2	0.0-9.0 ※0.5刻み	※技能別のスコアも成績提供される。	
TEAP	公益財団法人 日本英語検定協会	EFL環境の大学で行われる授業等で行う言語活動において英語を理解したり、考えを伝えたりすることができるとかを評価する。	・大学入試を想定して開発されており、テスト内容はすべて大学教育（留学も含む）で遭遇する場面を考慮して作成され、日本の高校3年生の英語を測定するのに最適なレベルのテスト ・全国120大学が採用	A2～C1	80-400	※技能別のスコア及びCEFRも提供される。 ※総合スコアに基づき、総合CEFRを、技能別スコアに基づき、技能別CEFRを提供する	
TEAP CBT	公益財団法人 日本英語検定協会	ICTを活用した出題を行い、EFL環境の大学で行われる授業等で行う言語活動において、英語を理解したり、考えを伝えたりすることができるかを評価する。	・画像、映像、音声の同時提示等、ICTの多様な機能を利用し、よりリアルな状況で、アクティブ・ラーニングの中心概念である「思考力、判断力、表現力」に重きを置いた英語運用力を測定 ・全国15大学が採用	A2～C1	0-800	※技能別のスコア及びCEFRも提供される。 ※総合スコアに基づき、総合CEFRを、技能別スコアに基づき、技能別CEFRを提供する	
TOEFL iBT®テスト	Educational Testing Service	高等教育機関において英語を用いて学業を修めるのに必要な英語力を有しているかを測ることを目的とする。	英語をどれだけ「知っているか」ではなく、「使えるか」に焦点をあて、より実生活に即したコミュニケーション能力を測定する世界基準の英語能力試験。150カ国、10,000以上の団体が入学選考等で英語力の証明として同テストを利用。	B1～C1	0-120	※技能別のスコアも提供される。	
TOEIC® L&R・S&W (TOEIC® Listening & Reading Test および TOEIC® Speaking & Writing Tests)	一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会	一般からビジネスまで幅広い英語によるコミュニケーション能力（「聞く、読む」「話す、書く」能力）を測定する。	大学入試でも活用されているが、大学入学後の英語力の進捗確認や単位認定等でも活用されている。 また大学卒業後も、就職時や企業内における人事の評価や配属等、社会においても広く活用されている。	A1～C1	10-1990 ※5点刻み	※技能別のスコアも提供される。	

注1) スコアの定義は各試験により異なります。

2020年度(2021年度入学者選抜)より導入される「大学入試英語成績提供システム」に参加予定の資格・検定試験概要②

試験名		2020年度 4～12月試験実施スケジュール ※予定の詳細は別紙2参照		検定料 注2)	障害等のある受検生への合理的な配慮 ※配慮内容の詳細は別紙3参照
ケンブリッジ 英語検定 (Cambridge English Qualifications)	C2 Proficiency	PB:計 4回程度	CB:計 3回程度	25,380円	○申請方法: 申込締切日(お問合せ頂いた配慮の内容について、試験センターより本部担当部に確認して回答、その後)までに最寄りの認定試験センターに申込。 ※受検上の配慮事項の準備には数か月かかる場合があるため、できるだけ早く申し込むこと。 ○成績表示: 受検者が一部の技能テストを免除されている場合、当該技能については、スコアは表示されない。受検者の全体スコア(Overall)はその他受検した技能のテストの平均値から求められ、CEFR段階別の評価はそのスコアに応じて算出される。なお、受検者が免除される理由については明記されない。
	C1 Advanced	PB:計15回程度	CB:計13回程度	22,140円	
	B2 First	PB:計10回程度	CB:計10回程度	19,980円	
	B2 First for Schools	PB:計11回程度	CB:計 8回程度		
	B1 Preliminary	PB:計10回程度	CB:計10回程度	11,880円	
	B1 Preliminary for Schools	PB:計17回程度	CB:計 9回程度		
	A2 Key	PB:計 8回程度	CB:計10回程度	9,720円	
A2 Key for Schools	PB:計17回程度	CB:計 9回程度			
英検	S-Interview	・4～12月に計2回程度実施予定。 ・具体的な試験実施日程は関係各位との調整次第、速やかに公開予定 ※2019実施方針は以下リリース参照 http://www.eiken.or.jp/eiken/info/2018/pdf/20181207_pressrelease_2019eiken.pdf		S-Interview	現在、本項目について整理中。
	1級			16,500円	
	準1級			9,800円	
	2級			7,500円	
	準2級			6,900円	
	3級			5,800円	
	S-1 day			S-1 day	
	準1級			9,800円	
	2級			7,500円	
	準2級			6,900円	
	3級			5,800円	
	CBT			CBT	
	2級			7,500円	
	準2級			6,900円	
	3級			5,800円	
GTEC	Advanced	・4～12月に計4回程度実施予定。 ・別紙のスケジュールは、2017年度の実績も基に、今後の会場増設の見込みも踏まえて作成。 ・具体的な試験実施日程及び場所等については、2019年中に公表予定。		6,700円程度	○申請方法: ・試験申込手続き前かつ、各検定お申込み締切日の2週間前までに、申請書(内容によっては医師の診断書も必要)をFAXで提出。 ・申請書の受領後、対応可否について、7日以内に電話にて連絡。 ○成績表示: 一部技能免除の場合は、免除される技能以外で技能ごとのスコアを合算して平均し、免除される技能の仮スコアを算出する。
	Basic			9,720円(税込8%)	
	Core				
	CBT				
IELTS (対象:「アカデミック・モジュール」) (British Council)		・4～12月に公開会場で22～24回程度実施予定。 ・別紙のスケジュールは、2018年度の実績を基に作成している。 ・2020年度4～12月の実施予定は、2019年12月末日までに公開予定。		25,380円	○申請方法: 受験希望日3ヶ月前までにセンターにメールにて診断書添付の上、受験希望の連絡を行う。 ○成績表示: 免除の技能があった場合は、免除技能のスコアは、受験した他科目の結果からの推測したスコアが表示され、オーバーオールバンドスコアは、推測スコアを含め4技能の平均が表示される。特記事項として、免除技能のスコアが推測であることが記載される。
IELTS (対象:「アカデミック・モジュール」) (IDP: IELTS Australia)		・4月～12月に計24回程度実施予定。 ・2017年度の実績を基に、今後の会場増設の見込みを踏まえて記入 ・具体的な試験実施日程などは、それぞれの実施月の1年前に公表予定 ・12月もテストは実施されるが、年内に確実に結果を受け取るには11月2週目までの受験が望ましい。(通常の場合、テスト日から13日後にテスト結果は発表されるが、災害、Remarkなどの遅延となりうるあらゆるケースを考慮した場合)		25,380円	○申請方法: 受験希望日3ヶ月前までにセンターにメールにて診断書添付の上、受験希望の連絡を行う。 ○成績表示: 免除の技能があった場合は、免除技能のスコアは、受験した他科目の結果からの推測したスコアが表示され、オーバーオールバンドスコアは、推測スコアを含め4技能の平均が表示される。特記事項として、免除技能のスコアが推測であることが記載される。
TEAP		・4～12月に計3回程度実施予定。 ・別紙のスケジュールは、2018年度の実施日程を基に作成している。 ・具体的な試験実施日程については、2019年12月までに公表する。		15,000円	障がい等のある方への特別措置対応は、「TEAP (PBT)」にて承っている。 ○申請方法: TEAPウェブサイトを受験申込を行う際に「特別措置を申請する」のチェックボックスにチェックする。その上で、同ウェブサイトより「TEAP特別措置要項・申請書」をダウンロードし、「TEAP特別措置申請書」の必要事項を記入。希望する措置を申請するのに必要な「障がいの程度を証明する書類(障害手帳のコピー、医師の診断書等)」を準備。同ウェブサイト上に記載されている申請受付期間(通常、各回申込開始日～約1ヶ月間)内に弊協会宛に特別措置申請必要書類一式を簡易書留で送付。弊協会にて申請内容を審査し、措置内容を決定後、「TEAP特別措置内容決定通知書」を送付。
TEAP CBT		・4～12月に計3回程度実施予定。 ・別紙のスケジュールは、2018年度の実施日程を基に作成している。 ・具体的な試験実施日程については、2019年12月までに公表する。		15,000円	○成績表示: 免除(一技能すべて)となる技能があった場合は、スコア欄に「-」と表示される。一技能の中で免除となるパートがあった場合は、実際に受験したパート部分を元に、フルスコアである100点満点のレンジでスコアが表示される。以上のいずれの措置を行った場合も成績表の欄外に免除された旨の説明が記載される。
TOEFL iBT®テスト		・4～11月に計28回程度実施予定。 ・別紙のスケジュールは、2017年度の実績を基に作成している。 ・具体的な試験実施日程及び場所等については、2019年11月頃に公表する。		235米ドル	○申請方法: ・受験日の設定前(6週間以上前まで)に、ETS Disability Servicesに郵送または電子メールで申請書を提出。 ・申請書の受領後、約6週間の審査を経て対応可の場合は承認書が送付される。 ※受験申込前に、必ずETS Disability Servicesに連絡し、承認を得る必要がある。 ※書類に不備がある場合(再提出が必要な場合)、書類の審査にさらに6週間かかるため、書類はできるだけ早く提出すること。 ○成績表示: ETS発行のスコアレポートには受験した技能のスコアのみ表示される。なお「大学入試英語成績提供システム」を利用する場合のみ、受験した技能のスコアの合計点およびCEFRが表示される。
TOEIC® L&R・S&W (TOEIC® Listening & Reading Test および TOEIC® Speaking & Writing Tests)		・4～12月にL&Rは計8回、S&Wは計18回(9×2回)実施予定。 ・別紙のスケジュールは、2018年度の実績を基に作成している。 ・各年の試験実施日程及び場所等については、前年10月末までに公表する。		L&R: 5,725円 S&W: 10,260円 ※L&RとS&Wの両方の試験を受検する必要がある。	○申請方法: ・試験申込締切日までに必要書類の郵送が必要となるため、なるべく早めに電話もしくはWeb上の問合せフォームに連絡。 ・休業日を除く2営業日以内に、対応可否等について連絡。 ○成績表示: 技能免除の場合の総合判定は、免除される技能以外で技能ごとのスコアを合算して行う。

注2) 2020年度の予定価格。経済的に困難な受検生については、各実施主体において、一定の条件のもとに検定料の低減を検討中。

※ 本内容は現時点での予定です。
 (文部科学省の「『大学入試英語成績提供システム』参加試験ニーズ調査」等を踏まえて今後変更となる可能性があります。)

平成30年12月時点

2020年度(2021年度入学選抜)より導入される「大学入試英語成績提供システム」に参加予定の資格・検定試験概要③

試験名		実施方法(注3)				解答形式				時間(分)				配点(点)				問題例	お問い合わせ先
		R	L	W	S	R	L	W	S	R	L	W	S	R	L	W	S		
ケンブリッジ 英語検定 (Cambridge English Qualifications)	C2 Proficiency	PBT/CBT	PBT/CBT	PBT/CBT	対面	選択&記述	選択&記述	記述	面接	90	約40	90	約16	230	230	230	230	サンプル問題 C2 Proficiency http://www.cambridgeenglish.org/Images/138857-c2-proficiency-paper-1.jpg	【全般にかかるお問い合わせ先】 e-mail: InfoJapan@cambridgeenglishreps.org Tel:03-3518-8276
	C1 Advanced	PBT/CBT	PBT/CBT	PBT/CBT	対面	選択&記述	選択&記述	記述	面接	90	約40	90	約15	210	210	210	210	C1 Advanced http://www.cambridgeenglish.org/Images/138857-c1-advanced-paper-1.jpg	
	B2 First	PBT/CBT	PBT/CBT	PBT/CBT	対面	選択&記述	選択&記述	記述	面接	75	約40	80	約14	190	190	190	190	B2 First http://www.cambridgeenglish.org/Images/138857-b2-first-paper-1.jpg	
	B2 First for Schools	PBT/CBT	PBT/CBT	PBT/CBT	対面	選択&記述	選択&記述	記述	面接	75	約40	80	約14	190	190	190	190	B2 First for Schools http://www.cambridgeenglish.org/Images/138857-b2-first-for-schools-paper-1.jpg	【障害等のある受検生への配慮にかかるお問い合わせ先】 同上
	B1 Preliminary	PBT/CBT	PBT/CBT	PBT/CBT	対面	選択&記述	選択&記述	記述	面接	45*	約30	45*	約10~12	170	170	170	170	B1 Preliminary http://www.cambridgeenglish.org/Images/138857-b1-preliminary-paper-1.jpg	
	B1 Preliminary for Schools	PBT/CBT	PBT/CBT	PBT/CBT	対面	選択&記述	選択&記述	記述	面接	45*	約30	45*	約10~12	170	170	170	170	B1 Preliminary for Schools http://www.cambridgeenglish.org/Images/138857-b1-preliminary-for-schools-paper-1.jpg	
	A2 Key	PBT/CBT	PBT/CBT	PBT/CBT	対面	選択&記述	選択&記述	記述	面接	60	約30	60	約8~10	150	150	150	150	A2 Key http://www.cambridgeenglish.org/Images/138857-a2-key-paper-1.jpg	
	A2 Key for Schools	PBT/CBT	PBT/CBT	PBT/CBT	対面	選択&記述	選択&記述	記述	面接	60	約30	60	約8~10	150	150	150	150	A2 Key for Schools http://www.cambridgeenglish.org/Images/138857-a2-key-for-schools-paper-1.jpg	
英検	S-Interview																		【全般にかかるお問い合わせ先】 英検サービスセンター(個人受付) Tel:03-3266-6581 英検サービスセンター(団体受付) Tel:03-3266-8311 【障害等のある受検生への配慮にかかるお問い合わせ先】 障がい者特別措置係 Tel:03-3266-6507 ※2019実施方針は以下リリース参照 http://www.eiken.or.jp/eiken/info/2018/pdf/20181207_pressrelease_2019eiken.pdf
	1級									100(R&W)	約35	100(R&W)	約10	850	850	850	850		
	準1級									90(R&W)	約30	90(R&W)	約8	750	750	750	750		
	2級	PBT	PBT	PBT	対面	選択	選択	記述	面接	85(R&W)	約25	85(R&W)	約7	650	650	650	650		
	準2級									75(R&W)	約25	75(R&W)	約6	600	600	600	600		
	3級									50(R&W)	約25	50(R&W)	約5	550	550	550	550		
	S-1 day																	過去問題を英検ウェブサイトに公開 http://www.eiken.or.jp/eiken/exam/	
	準1級									90(R&W)	約30	90(R&W)	約8	750	750	750	750		
	2級	PBT	PBT	PBT	CBT	選択	選択	記述	録音	85(R&W)	約25	85(R&W)	約7	650	650	650	650		
	準2級									75(R&W)	約25	75(R&W)	約6	600	600	600	600		
	3級									50(R&W)	約25	50(R&W)	約5	550	550	550	550		
	CBT																		
	2級									85(R&W)	約25	85(R&W)	約7	650	650	650	650		
	準2級	CBT	CBT	CBT	CBT	選択	選択	記述	録音	75(R&W)	約25	75(R&W)	約6	600	600	600	600		
	3級									50(R&W)	約25	50(R&W)	約5	550	550	550	550		
GTEC	Advanced	PBT	PBT	PBT	CBT	選択	選択	記述	録音	約45	約25	約25	約25	320	320	320	320	サンプル問題	【全般にかかるお問い合わせ先】 Tel:0570-064652
	Basic	PBT	PBT	PBT	CBT	選択	選択	記述	録音	約45	約25	約25	約25	270	270	270	270	サンプル問題	【障害等のある受検生への配慮にかかるお問い合わせ先】 同上
	Core	PBT	PBT	PBT	CBT	選択	選択	記述	録音	約32	約20	約25	約25	210	210	210	210	サンプル問題	
	CBT	CBT	CBT	CBT	CBT	選択	選択	記述	録音	約55	約35	約65	約20	350	350	350	350	サンプル問題	
IELTS (対象:「アカデミック・モジュール」) (British Council)		PBT	PBT	PBT	対面	記述	記述	記述	面接	60	約40	60	11~14	9	9	9	9	見本問題をブリティッシュカウンシルのウェブサイト上に公開 https://takeielts.britishcouncil.org/prepare-test/free-practice-tests	【全般にかかるお問い合わせ先】 Email:jp500ielts@eiken.or.jp(札幌,仙台,埼玉,東京,横浜,松本,金沢エリア) Email:jp512ielts@eiken.or.jp(名古屋,京都,大阪,神戸,岡山,広島,福岡エリア) 【障害等のある受検生への配慮にかかるお問い合わせ先】 同上
IELTS (対象:「アカデミック・モジュール」) (IDP: IELTS Australia)		PBT	PBT	PBT	対面	記述	記述	記述	面接	60	約40	60	11~14	9	9	9	9	サンプル問題(以下のサイトからダウンロード可) https://www.ieltsajp.com/study-for-ielts/practice-test/ 見本問題を英検ウェブサイトに公開 http://www.eiken.or.jp/teap/construct/#rltest	【全般にかかるお問い合わせ先】 オンラインフォーム:https://www.ieltsajp.com/contact-us/ 又は IELTS公式テストセンター:一般財団法人日本スタディ・アブロード・ファンデーション(JSAF) Tel:03-6273-9536 FAX:03-6273-9537 Email:jsaf-ielts@japanstudyabroad.org オンラインフォーム:https://japanstudyabroad.org/ielts-japan-toiawase/ 【障害等のある受検生への配慮にかかるお問い合わせ先】 同左
TEAP		PBT	PBT	PBT	対面	選択	選択	記述	面接	70	約50	70	約10	100	100	100	100	見本問題を英検ウェブサイトに公開 http://www.eiken.or.jp/teap/construct/#rltest	【全般にかかるお問い合わせ先】 英検サービスセンター TEAP運営事務局 Tel:03-3266-6556 【障害等のある受検生への配慮にかかるお問い合わせ先】 同上
TEAP CBT		CBT	CBT	CBT	CBT	選択	選択	記述	録音	約80	約40	約50	約30	200	200	200	200	英検ウェブサイト上で、CBT体験が可能 http://www.eiken.or.jp/teap/cbt/construct	【全般にかかるお問い合わせ先】 英検サービスセンター TEAP運営事務局 Tel:03-3266-6556 【障害等のある受検生への配慮にかかるお問い合わせ先】 同上
TOEFL iBT®テスト		CBT	CBT	CBT	CBT	選択	選択	記述	録音	60~80	60~90	50	20	30	30	30	30	過去問 https://www.ets.org/toefl/ibt/prepare/quick_prep/ <受験前> ・Regional Registration Center (RRC) プロメトリック株式会社 コンタクトフォーム:https://wl.prometric-jp.com/contact/agree0010.html Tel:03-6204-9830 ・Educational Testing Service (ETS) TOEFL Services *英語のみ対応可 Tel:1-609-771-7100 Fax:1-610-290-8972 Email:toefl@ets.org <受験後> Educational Testing Service (ETS) Customer Support Center in Japan Tel:0120-981-925Email:TOEFLSupport4Japan@ets.org	【全般にかかるお問い合わせ先】 ・Regional Registration Center (RRC) プロメトリック株式会社 Tel:1-609-771-7100 Fax:1-610-290-8972 Email:toefl@ets.org ・Educational Testing Service (ETS) TOEFL Services *英語のみ対応可 Tel:1-609-771-7100 Fax:1-610-290-8972 Email:toefl@ets.org ・Regional Registration Center (RRC) プロメトリック株式会社 コンタクトフォーム:https://wl.prometric-jp.com/contact/agree0010.html Tel:03-6204-9830
TOEIC® L&R・S&W (TOEIC® Listening & Reading Test および TOEIC® Speaking & Writing Tests)		PBT	PBT	CBT	CBT	選択	選択	記述	録音	75	約45	約60	約20	495	495	500 (200×2.5)	500 (200×2.5)	サンプル問題をウェブサイトに公開 http://www.ets.org/toefl/ibt/prepare/quick_prep/ <受験前> ・Regional Registration Center (RRC) プロメトリック株式会社 コンタクトフォーム:https://wl.prometric-jp.com/contact/agree0010.html Tel:03-6204-9830 ・Educational Testing Service (ETS) TOEFL Services *英語のみ対応可 Tel:1-609-771-7100 Fax:1-610-290-8972 Email:toefl@ets.org <受験後> Educational Testing Service (ETS) Customer Support Center in Japan Tel:0120-981-925Email:TOEFLSupport4Japan@ets.org	【全般にかかるお問い合わせ先】 Tel:03-5521-6033 【障害等のある受検生への配慮にかかるお問い合わせ先】 同上

注3) 「PBT」は、Paper Based Testingの略で、紙で実施する試験であり、「CBT」は、Computer Based Testingの略で、コンピューターで実施する試験のことを指します。
 「R」はReading(読む)、「L」はListening(聞く)、「W」はWriting(書く)、「S」はSpeaking(話す)の略です。

各資格・検定試験とCEFRとの対照表

別紙1

文部科学省（平成30年3月）

CEFR	ケンブリッジ 英語検定	実用英語技能検定 1級-3級	GTEC Advanced Basic Core CBT	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT	TOEIC L&R/ TOEIC S&W
C2	230 200 (230) (210)			9.0 8.5				
C1	199 180 (190)	3299 2600 (3299)	1400 1350 (1400)	8.0 7.0	400 375	800	120 95	1990 1845
B2	179 160 (170)	2599 2300 (2599)	1349 1190 (1280)	6.5 5.5	374 309	795 600	94 72	1840 1560
B1	159 140 (150)	2299 1950 (2299)	1189 960 (1080)	5.0 4.0	308 225	595 420	71 42	1555 1150
A2	139 120 (120)	1949 1700 (1949)	959 690 (840)		224 135	415 235		1145 625
A1	119 100 (100)	1699 1400 (1699)	689 270 (270)					620 320

は各級合格スコア

※括弧内の数値は、各試験におけるCEFRとの対象関係として測定できる能力の範囲の上限と下限

○ 表中の数値は各資格・検定試験の定める試験結果のスコアを指す。スコアの記載がない欄は、各資格・検定試験において当該欄に対応する能力を有していると認定できないことを意味する。

※ ケンブリッジ英語検定、実用英語技能検定及びGTECは複数の試験から構成されており、それぞれの試験がCEFRとの対照関係として測定できる能力の範囲が定められている。当該範囲を下回った場合にはCEFRの判定は行われず、当該範囲を上回った場合には当該範囲の上限に位置付けられているCEFRの判定が行われる。

※ TOEIC L&R/ TOEIC S&Wについては、TOEIC S&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコアで判定する。

※ 障害等のある受検生について、一部技能を免除する場合等があるが、そうした場合のCEFRとの対照関係については、各資格・検定試験実施主体において公表予定。

2020年度4～12月試験実施スケジュール①

別紙2-①

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	備考
ケンブリッジ英語検定 (Cambridge English Qualifications)	C2 Proficiency										
	C1 Advanced										
	B2 First										
	B2 First for Schools	○	○	○	○	○	○	○	○		・2018年の公開テストの試験会場をもとに記入。(ケンブリッジが定める条件を満たせば)学校を会場に試験実施可。 ・2020年度の試験日程詳細は2019年12月までに公表予定。
	B1 Preliminary	(北海道・東北・関東・中部・関西・中国・九州)	(北海道・東北・関東・中部・関西・中国・九州)	(北海道・東北・関東・中部・関西・中国・九州)	(北海道・東北・関東・中部・関西・中国・九州)	(北海道・東北・関東・中部・関西・中国・九州)	(北海道・東北・関東・中部・関西・中国・九州)	(北海道・東北・関東・中部・関西・中国・九州)	(北海道・東北・関東・中部・関西・中国・九州)		
	B1 Preliminary for Schools										
	A2 Key										
	A2 Key for Schools										
英検	S-Interview										※具体的な試験実施日程は関係各位との調整次第、速やかに公開予定 ※2019実施方針は以下リリース参照 http://www.eiken.or.jp/eiken/info/2018/pdf/20181207_pressrelease_2019eiken.pdf
	1級										
	準1級										
	2級			○	○			○	○		
	準2級			※RLWを47都道府県にて実施予定	※Sを47都道府県にて実施予定			※RLWを47都道府県にて実施予定	※Sを47都道府県にて実施予定		
	3級										
	S-1 day										
	準1級										
	2級				○			○			
	準2級				※RLWSを47都道府県にて実施予定			※RLWSを47都道府県にて実施予定			
	3級										
	CBT										
	2級	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	準2級	(北海道・東北・関東・中部・関西・中国・九州・沖縄)	(北海道・東北・関東・中部・関西・中国・九州・沖縄)	(北海道・東北・関東・中部・関西・中国・九州・沖縄)	(北海道・東北・関東・中部・関西・中国・九州・沖縄)	(北海道・東北・関東・中部・関西・中国・九州・沖縄)	(北海道・東北・関東・中部・関西・中国・九州・沖縄)	(北海道・東北・関東・中部・関西・中国・九州・沖縄)	(北海道・東北・関東・中部・関西・中国・九州・沖縄)	(北海道・東北・関東・中部・関西・中国・九州・沖縄)	
	3級										

注1) 12月については、その後の採点や成績データ授受等に要する期間の関係で、大学入試英語成績提供システムによる大学への成績提供の対象外となる可能性がある。

2020年度4～12月試験実施スケジュール②

別紙2ー②

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	備考
<u>GTEC</u>	Advanced			○ (47都道府県) ※未定		○ (47都道府県) ※未定		○ (47都道府県) ※未定	○ (47都道府県) ※未定		・大学入試英語成績提供システムへの参加申請時の情報を元に、各タイプの実施月を仮に記載しています。文部科学省の動向調査を踏まえ、実施の詳細については定める予定です。
	Basic			○ (47都道府県) ※未定		○ (47都道府県) ※未定		○ (47都道府県) ※未定	○ (47都道府県) ※未定		
	Core			○ (47都道府県) ※未定				○ (47都道府県) ※未定	○ (47都道府県) ※未定		
	CBT				○ (47都道府県) ※未定				○ (47都道府県) ※未定		
<u>IELTS</u> (対象:「アカデミック・モジュール」) (British Council)		○ (北海道・東北・関東・中部・関西・中国・九州)	○ (北海道・関東・北陸・中部・関西・中国・九州) * 公開会場のみ	○ (関東・東北・中部・関西・九州) * 公開会場のみ	○ (北海道・関東・北陸・中部・関西・中国・九州) * 公開会場のみ	○ (北海道・東北・関東・中部・関西・九州) * 公開会場のみ	○ (関東・北陸・中部・関西・中国・九州) * 公開会場のみ	○ (北海道・東北・関東・中部・関西・中国・九州) * 公開会場のみ	○ (北海道・関東・関西) * 公開会場のみ	○ (東北・関東・関西・九州) * 公開会場のみ	・公開会場の他、団体受験を実施。2017年度実績は10ブロック全てで84回実施(同団体の複数回は個別でカウント。) ・40人以上の受験者数が見込まれる場合は、団体受験申込を検討
<u>IELTS</u> (対象:「アカデミック・モジュール」) (IDP: IELTS Australia)		○ (関東・北陸・関西・中国・九州)	○ (東北・関東・中部・関西・九州)	○ (北海道・関東・関西・九州・沖縄)	○ (北海道・関東・関西・四国・九州)	○ (関東・北陸・関西・中国・九州)	○ (北海道・関東・中部・関西・九州)	○ (関東・関西・九州・沖縄)	○ (北海道・東北・関東・関西・四国・九州)	○ (関東・中部・関西・九州)	12月もテストは実施されるが、年内に確実に結果を受け取るには11月2週目までの受験が望ましい。(通常の場合、テスト日から13日後にテスト結果は発表されるが、災害、Remarkなどの遅延となりうるあらゆるケースを考慮した場合)
<u>TEAP</u>					○ (47都道府県で実施予定)		○ (47都道府県で実施予定)		○ (47都道府県で実施予定)		・2018年度の試験日程をもとに記入。 ・2020年度の具体的な試験日程等は2019年12月までに公表予定。
<u>TEAP CBT</u>				○ (北海道・東北・関東・中部・関西・九州)			○ (北海道・東北・関東・中部・関西・九州)	○ (北海道・東北・関東・中部・関西・九州)			・2018年度の試験日程をもとに記入。 ・2018年度は11都道府県にて実施。受験者の状況やご要望を伺いながら、2018年度、2019年度、2020年度と実施エリアを増やしていく予定。 ・2020年度の具体的な試験日程等は2019年12月までに公表予定。
<u>TOEFL iBT®</u> <u>テスト</u>		○ (北海道・東北・関東・北陸・中部・関西・中国・四国・九州・沖縄)	○ (北海道・東北・関東・北陸・中部・関西・中国・四国・九州・沖縄)	○ (北海道・東北・関東・北陸・中部・関西・中国・四国・九州・沖縄)	○ (北海道・東北・関東・北陸・中部・関西・中国・四国・九州・沖縄)	○ (北海道・東北・関東・北陸・中部・関西・中国・四国・九州・沖縄)	○ (北海道・東北・関東・北陸・中部・関西・中国・四国・九州・沖縄)	○ (北海道・東北・関東・北陸・中部・関西・中国・四国・九州)	○ (北海道・東北・関東・北陸・中部・関西・中国・四国・九州)		スコアレポート送付に日数を要するため、受験期間は4～11月とする。
<u>TOEIC®</u>	<u>L&R</u>	○ (北海道・東北・関東・中部・関西・中国・九州)	○ (47都道府県)	○ (北海道・東北・関東・北陸・中部・関西・中国・九州)	○ (北海道・東北・関東・北陸・中部・関西・中国・四国・九州・沖縄)		○ (47都道府県)	○ (北海道・東北・関東・北陸・中部・関西・中国・九州)	○ (47都道府県)	○ (北海道・東北・関東・北陸・中部・関西・中国・九州)	
	<u>S&W</u>	○ (北海道・関東・北陸・中部・関西・中国・四国・九州・沖縄)	○ (北海道・東北・関東・中部・関西・中国・九州)	○ (北海道・関東・中部・関西・中国・九州)	○ (北海道・東北・関東・北陸・中部・関西・中国・四国・九州・沖縄)	○ (北海道・関東・中部・関西・中国・九州)	○ (北海道・東北・関東・中部・関西・中国・九州)	○ (北海道・関東・中部・関西・中国・九州)	○ (北海道・東北・関東・中部・北陸・関西・中国・四国・九州・沖縄)	○ (北海道・関東・中部・関西・中国・九州)	

障害等のある受検生への合理的な配慮 配慮内容例 ケンブリッジ英語検定 別紙3

試験名：ケンブリッジ英語検定 (Cambridge English Qualifications) <http://www.cambridgeenglish.org/jp/help/special-requirements/>

実施主体名：Cambridge Assessment English (ケンブリッジ大学英語検定機構)

※各区分に記載している「配慮する事項」は、代表的な事項を例として掲載しています。なお、表に記載がない受検上の配慮を希望する場合は、各資格・検定試験実施主体に相談してください。 (03-3518-8276)

【ア】視覚に関する配慮事項

対象となる者	配慮する事項 (例)				必要な提出書類
	全ての技能において配慮する事項	リスニング	リーディング	ライティング	スピーキング
視覚障がいのある受検者 (全盲、弱視、視力に問題のある方等)	- 試験時間の延長 (通常25%、必要であれば更なる延長の申請が可能)、監督者を配した休憩時間の確保 - 機器の使用 …ルーペ等の拡大機器、コンピュータ画面拡大ソフトウェア、画面読み取りソフトウェア、ビデオ拡大機 またはCCTV、読み取り機器、点字ディスプレイ、点字キーボード、コンピューターやワープロ、点字ノートテーカー等 …コンピューター読み取り解答题紙の代わりに、別の用紙への記入 …点字問題用紙 …拡大墨字問題用紙 …代読・代筆の依頼	- 特別版リスニングテストの実施 …質問文を読む時間、解答を書く時間、解答をチェックする時間がそれぞれ充分保てるよう、各パートの前、途中、終了時にCDを止める音止め方式。			- 特別版スピーキングテストの実施 - 試験時間の延長 …受検者ではない (テストは受けない) パートナーとの受検 …パートナーなしでの受検 …通常はパートナーと話すところで面接官と話すこと …視覚的なテスト問題ではなく、“書かれた” 説明文もしくは点字による説明文の使用 …スピーキングテストで写真・絵を使用する場合、その写真・絵の拡大 (拡大写真の使用が困難な場合に、その写真の説明文の拡大)
					- 身元が保証された医師による診断書 - Special Arrangements Form (特別手配フォーム)

【イ】聴覚に関する配慮事項

対象となる者	配慮する事項 (例)				必要な提出書類
	全ての技能において配慮する事項	リスニング	リーディング	ライティング	スピーキング
聴覚障がいのある受検者 (かつ発話するのに難のある受検者)	- 補聴器、ワイヤレスシステム、ヘッドホン、聴覚アンプ等の機器の使用 - 聴覚障害者資格者 (読唇術) 特別版の試験の実施 - 別室受験	- 免除 - 聴覚障害 (読唇) 対応リスニングテストの実施 …音声を再生する代わりに試験監督者 (リスニングテストを実施する担当者) が試験問題を読み上げる。試験によっては、読み上げを2、3回繰り返す。			- 免除 - スピーキングテストの特別対応 …時間の延長 …読唇用>ダグミーパートナー (受検者ではない者) の依頼 …1対1対面式スピーキング対応 ※ケンブリッジの英語検定では、多くの場合、他の受検者をパートナーとして二人一組で受検している。
					- 身元が保証された医師による診断書 - Special Arrangements Form (特別手配フォーム)

【ウ】肢体不自由に関する配慮事項

対象となる者	配慮する事項 (例)				必要な提出書類
	全ての技能において配慮する事項	リスニング	リーディング	ライティング	スピーキング
脳性麻痺など運動障害のある方	- 試験時間の延長 (25%) - 監督者を配した休憩時間 - 解答記入の際の補助、コンピュータまたはワードプロセッサ、またはその他の形式の補助テクノロジーの使用				
					- 身元が保証された医師による診断書 - Special Arrangements Form (特別手配フォーム)

【エ】病弱に関する配慮事項

対象となる者	配慮する事項 (例)				必要な提出書類
	全ての技能において配慮する事項	リスニング	リーディング	ライティング	スピーキング
〈慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者〉	1階又はエレベーターが利用可能な試験室で受験 - 杖の持参使用 - 試験室入り口までの付添者の同伴 - 試験場への乗用車での入構 - 別室の設定 - トイレに近い試験室で受験 - 座席を試験室の出入り口に近い所に指定				
					- 身元が保証された医師による診断書 - Special Arrangements Form (特別手配フォーム)

【オ】発達障害に関する配慮事項

対象となる者	配慮する事項 (例)				必要な提出書類
	全ての技能において配慮する事項	リスニング	リーディング	ライティング	スピーキング
自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害のため配慮を必要とする者	- 試験時間の延長 (1.3倍) - チェック解答 - 拡大文字問題冊子 (14ポイント、18ポイント、22ポイント) の配布 - 注意事項等の文書による伝達 - 別室の設定 - 試験室入り口までの付添者の同伴	- 特別版リスニングテストの実施 …質問文を読む時間、解答を書く時間、解答をチェックする時間がそれぞれ充分保てるよう、各パートの前、途中、終了時にCDを止める音止め方式。 …受検者の注意がさまよっている (集中できていない) 場合に、質問用紙を指したり、予め決めておいた合図を使って受検者の注意を解答用紙に再び向けさせたりすること	- ブロンプター活用許可 …受検者の注意がさまよっている (集中できていない) 場合に、質問用紙を指したり、予め決めておいた合図を使って受検者の注意を解答用紙に再び向けさせたりすること	- ブロンプター活用許可 …受検者の注意がさまよっている (集中できていない) 場合に、質問用紙を指したり、予め決めておいた合図を使って受検者の注意を解答用紙に再び向けさせたりすること	- 身元が保証された医師による診断書 - Special Arrangements Form (特別手配フォーム) ・ (学習障害の場合のみ) 以下の条件を満たす、学習障害についての報告書 ①受検者が13歳以上の時点で診断・作成された報告書であること ②学習障害の度合いと、(診断に際し受けた) テストについて詳細が説明されているもの ③教育的医学的に資格のある心理学者や、適切な資格をもつ診断可能な専門家が書面で報告していること

【カ】その他の配慮事項 (【ア】～【オ】の区分以外の者)

対象となる者	配慮する事項 (例)				必要な提出書類
	全ての技能において配慮する事項	リスニング	リーディング	ライティング	スピーキング
長期にわたる障がいではないが利き腕の骨折など	試験時間の延長				
					- 身元が保証された医師による診断書 - Special Arrangements Form (特別手配フォーム)

障害等のある受検生への合理的な配慮 配慮内容例

GTEC 別紙3

試験名：GTEC
 実施主体名：株式会社ベネッセコーポレーション
 ※各区分に記載している「配慮する事項」は、代表的な事項を例として掲載しています。なお、表に記載がない受検上の配慮を希望する場合は、各資格・検定試験実施主体に相談してください。（0570-064652）

【ア】視覚に関する配慮事項						
対象となる者	配慮する事項（例）					必要な提出書類
	全ての技能において配慮する事項	リスニング	リーディング	ライティング	スピーキング	
①点字教育を受けている者 ②障害程度等級が6級 ・良い方の目の矯正視力が0.15以下 ・両眼による視野について視能率による損失率が90%以上	- 試験室入り口までの付添者の同伴 - トイレ等における付添者の手配 - 本人の時間確認時における音声時計の使用 - 点字メモ用紙の使用 - 点字ディスプレイの持参使用 - 時間延長 - 別室受検 （時間延長や特別な配慮が必要な場合、全技能で、別室受検を実施）	- 点字問題冊子の使用 - 拡大文字問題冊子の使用 - PCの画面の拡大表示、音声読み上げ（CBT） - 音声聴取の方法についての配慮（ヘッドホンの使用／イヤホンの使用／スピーカー使用、連続方式） - ヘッドホン等の装着補助 - 点字用紙への解答 - 代筆解答 - 問題冊子の解答番号にチェックする解答	- 点字問題冊子の使用 - 拡大文字問題冊子の使用 - PCの画面の拡大表示、音声読み上げ（CBT） - 時間延長 - 別室受検 - 点字用紙への解答 - 問題冊子の解答番号にチェックする解答	- 点字問題冊子の使用 - 拡大文字問題冊子の使用 - PCの画面の拡大表示、音声読み上げ（CBT） - 時間延長 - 別室受検 - 点字用紙への解答 - 拡大解答用紙への解答	- 点字用問題冊子・タブレット端末の使用 - 拡大文字問題冊子・通常タブレットの使用 - PCの画面の拡大表示、音声読み上げ（CBT）	①受検上の配慮申請書 ②診断書

【イ】聴覚に関する配慮事項						
対象となる者	配慮する事項（例）					必要な提出書類
	全ての技能において配慮する事項	リスニング	リーディング	ライティング	スピーキング	
①両耳の平均聴力レベル※が60デシベル以上の者 ※「両耳の平均聴力レベル」とは、右耳・左耳それぞれの平均聴力レベルであることを意味します。 ②上記以外で特別措置を希望する者	- 試験開始・終了の明確な伝達 - 試験実施に関する手話による説明 - 動画を搭載したタブレット準備	- 免除 - 補聴器、人工内耳の装着 - 時間延長 - 別室受検 - 音声聴取の方法についての配慮（ヘッドホンの使用／イヤホンの使用／スピーカー使用、連続方式） - ヘッドホン等の装着補助 - 音声プレーヤーの操作補助 - 試験官の口頭指示の際の補助			- 免除 - 補聴器、人工内耳の装着 - 別室受検 - 音声聴取の方法についての配慮（ヘッドホンの使用／イヤホンの使用／スピーカー使用、連続方式） - ヘッドホン等の装着補助 - 音声プレーヤーの操作補助 - 試験官の口頭指示の際の補助 - 一部の問題に対して、問題カードの提供 - 採点拠点へ該当受検者の情報を連携	①受検上の配慮申請書 ②診断書

【ウ】肢体不自由に関する配慮事項						
対象となる者	配慮する事項（例）					必要な提出書類
	全ての技能において配慮する事項	リスニング	リーディング	ライティング	スピーキング	
①体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者 ②両上肢の機能障害が著しい者 ③①②以外で解答用紙にマークすることが困難な者 ④下肢障害者	- 介助者の配置 - バリアフリー会場指定 1階又はエレベーターが利用可能な試験室での受検 - 洋式トイレ又は障がい者用トイレに近い試験室で受検 - 座席配置（車いす等スペース確保、出入り口付近等）の配慮 - 特製机・椅子の持参使用又は試験場側での準備（要相談の上で対応可否判断） - 車いすの持参使用 - 杖の持参使用 - 文鎮などの補助用具の持ち込み - 試験室入り口までの付添者の同伴 - 試験場への乗用車での入構 - 時間延長 - 別室受検 - タブレット・PC操作の補助 - 代筆解答 - 個に応じた入力装置の使用	- 拡大文字問題冊子 - PCの画面の拡大表示、音声読み上げ（CBT） - 問題用紙への直接解答 - 問題用紙・解答用紙のページめくりの補助 - 音声聴取の方法についての配慮（ヘッドホンの使用／イヤホンの使用／スピーカー使用、連続方式） - ヘッドホン等の装着補助	- 拡大文字問題冊子 - PCの画面の拡大表示、音声読み上げ（CBT） - 問題用紙への直接解答 - 問題用紙・解答用紙のページめくりの補助	- 拡大文字問題冊子 - PCの画面の拡大表示、音声読み上げ（CBT） - タブレットによるタイプ解答	- ヘッドホン等の装着補助 - 音声プレーヤーの操作補助 - PCの画面の拡大表示、音声読み上げ（CBT） - 拡大文字問題冊子・通常タブレットの使用 - 一部の問題に対して、問題カードの提供	①受検上の配慮申請書 ②診断書

【エ】病弱に関する配慮事項						
対象となる者	配慮する事項（例）					必要な提出書類
	全ての技能において配慮する事項	リスニング	リーディング	ライティング	スピーキング	
病弱な者	1階又はエレベーターが利用可能な試験室での受検 - トイレに近い試験室で受検 - 座席配置（出入り口付近等）の配慮 - 杖の持参使用 - 試験室入り口までの付添者の同伴 - 試験場への乗用車での入構 - 別室受検					①受検上の配慮申請書 ②診断書

【オ】発達障害に関する配慮事項						
対象となる者	配慮する事項（例）					必要な提出書類
	全ての技能において配慮する事項	リスニング	リーディング	ライティング	スピーキング	
発達障害の症状のある者	- 時間延長 - 別室受検 - 使いやすい筆記用具、文房具の使用 - 蛍光灯等の光の過敏対策のためのサンングラスや帽子、色付きのオーバレイ等の使用 - 音の過敏対策のためのイヤーマフやノイズキャンセリングイヤホンの使用	- 拡大文字問題冊子 - PCの画面の拡大表示、音声読み上げ（CBT） - 問題用紙への直接解答 - 個に応じた入力装置の使用 - 座席指定（後列、出入り口付近側など） - 音声聴取の方法についての配慮（ヘッドホンの使用／イヤホンの使用／スピーカー使用、連続方式） - ヘッドホン等の装着補助 - 音声プレーヤーの操作補助	- 拡大文字問題冊子 - PCの画面の拡大表示、音声読み上げ（CBT） - 問題用紙への直接解答 - 個に応じた入力装置の使用	- 拡大文字問題冊子 - PCの画面の拡大表示、音声読み上げ（CBT） - 問題用紙への直接解答 - 個に応じた入力装置の使用	- PCの画面の拡大表示、音声読み上げ（CBT） - 音声聴取の方法についての配慮（ヘッドホンの使用／イヤホンの使用／スピーカー使用、連続方式） - 拡大文字問題冊子・通常タブレットの使用 - 一部の問題に対して、問題カードの提供	①受検上の配慮申請書 ②診断書

【カ】その他の配慮事項（【ア】～【オ】の区分以外の者）						
対象となる者	配慮する事項（例）					必要な提出書類
	全ての技能において配慮する事項	リスニング	リーディング	ライティング	スピーキング	

試験名：IELTS（対象：「アカデミック・モジュール」）
実施主体名：British Council
※各区分に記載している「配慮する事項」は、代表的な事項を例として掲載しています。なお、表に記載がない受検上の配慮を希望する場合は、各資格・検定試験実施主体に相談してください。（教育事業部 IELTSC課 03ー3266ー6852）

【ア】視覚に関する配慮事項

対象となる者	配慮する事項（例）					必要な提出書類
	全ての技能において配慮する事項	リスニング	リーディング	ライティング	スピーキング	
弱視、盲人などの視覚障がいの方	・拡大文字の問題冊子 ・点字の問題冊子 ・個室受験 ・時間延長 ・問題を読む際の手助け(補助機器の使用)	・リスニング問題特別対応用CDの使用	・回答代筆、 （＊問題文の読み上げ・画面朗読ソフトウェアの使用は禁止）	・回答代筆 ・PC等入力用機器の使用		・医療機関発行の診断書

【イ】聴覚に関する配慮事項

対象となる者	配慮する事項（例）					必要な提出書類
	全ての技能において配慮する事項	リスニング	リーディング	ライティング	スピーキング	
ろう(あ)、難聴、吃音などの聴覚障がいの方	・受付から試験終了まで担当スタッフの配置	・免除 ・補聴器、ヘッドホンの使用、 ・個室にて音量増での実施 ・リスニング問題特別対応用CDの使用 ・時間延長 ・聴覚障がい者用(リップリーディング)リスニング試験			・免除 ・担当試験官の選定配慮	・医療機関発行の診断書

【ウ】肢体不自由に関する配慮事項

対象となる者	配慮する事項（例）					必要な提出書類
	全ての技能において配慮する事項	リスニング	リーディング	ライティング	スピーキング	
上肢不自由、下肢不自由などの身体障がいの方	・入り口から試験終了までスタッフの付き添い ・机・座席・部屋(階数)等、スペースや出入りの配慮 ・個室対応 ・時間延長	・代筆者を認める ・自前のタイプの持ち込み可なしセンターからの提供	・代筆者を認める ・自前のタイプの持ち込み可なしセンターからの提供	・代筆者を認める ・自前のタイプの持ち込み可なしセンターからの提供		・医療機関発行の診断書

【エ】病弱に関する配慮事項

対象となる者	配慮する事項（例）					必要な提出書類
	全ての技能において配慮する事項	リスニング	リーディング	ライティング	スピーキング	
持病のある方、健康に問題のある方	・必要な医療器具・薬の持ち込み可 ・個室受験の配慮 ・時間延長 ・監督下での休憩 ・回答にあたってのコンピューターの使用 ・問題用紙の読み上げ ・複写、もしくは書き起こし ・解答用紙への記入援助 ・透明な色つきカバーシートの利用(問題用紙の色を変更することによって、視覚からの情報が得やすい病状などの場合) ・拡大文字の問題冊子 ・補助機器の使用					・医療機関発行の診断書

【オ】発達障害に関する配慮事項

対象となる者	配慮する事項（例）					必要な提出書類
	全ての技能において配慮する事項	リスニング	リーディング	ライティング	スピーキング	
ADHD、自閉症、学習障害、アスペルガーなど本人の申請及び医師による発達障がい診断がある方	・時間延長 ・個室対応 ・担当スタッフの配置 ・監督下での休憩 ・回答にあたってのコンピューターの使用 ・問題用紙の読み上げ ・複写、もしくは書き起こし ・解答用紙への記入援助 ・透明な色つきカバーシートの利用(問題用紙の色を変更することによって、視覚からの情報が得やすい病状などの場合) ・拡大文字の問題冊子 ・補助機器の使用					・医療機関発行の診断書

【カ】その他の配慮事項（【ア】～【オ】の区分以外の者）

対象となる者	配慮する事項（例）					必要な提出書類
	全ての技能において配慮する事項	リスニング	リーディング	ライティング	スピーキング	
本人から申請があり医師による診断がある方	・本人の要望をヒアリングした上でセンターで可能な配慮					・医療機関発行の診断書

試験名：International English Language Testing System(IELTS)

実施主体 IDP:IELTS Australia (対象：「アカデミック・モジュール」)

※各区分に記載している「配慮する事項」は、代表的な事項を例として掲載しています。なお、表に記載がない受検上の配慮を希望する場合は、各資格・検定試験実施主体に相談してください。

オンラインフォーム <https://www.ieltsjp.com/contact-us/> 又は IELTS公式テストセンター：一般財団法人日本スタディ・アプロード・ファンデーション (JSAF)

TEL:03-6273-9356 Email:jsaf-ielts@japanstudyabroad.org オンラインフォーム：<https://japanstudyabroad.org/ielts-japan-toiawase/>

【ア】視覚に関する配慮事項

対象となる者	配慮する事項（例）					必要な提出書類
	全ての技能において配慮する事項	リスニング	リーディング	ライティング	スピーキング	
視覚に関する配慮を必要とする者	- 試験受付までの付添者の同伴 - 別室の設定 - 座席配置（窓側の明るい座席等）の配慮 - 試験時間の延長（通常25%の延長。それ以上の延長申請があった場合、症状により総合的に判断） - 画面拡大ソフトウェア - 再生可能な点字ディスプレイ - 問題読み上げ者の申請（リーディングの試験では、読み上げ者は問題文を読み上げることはできない。また、画面朗読ソフトウェアの使用も禁じられている） - 機械点字キーボード - プリンターに接続された電子点字キーボード - コンピューターもしくはワープロ（スペルチェック、グラマーチェック、類語辞典、その他の類似の機能の使用は禁止） - 点字メモ取り - 代筆者の申請 - 点字問題冊子の使用 - 拡大問題冊子の使用（問題の解答に必要な「視覚的」資料を排除しそのうえで、A4サイズの大活字版を作成。活字の大きさは通常18ポイント太字）	- 特別版リスニングテストの実施 - 質問文を読む時間、解答を書く時間、解答をチェックする時間がそれぞれ充分保てるよう、各パートの前、途中、終了時にCDを止める音止め方式。			拡大文字または点字によるスピーキングタスクカードの使用	医療機関が発行する診断書

【イ】聴覚に関する配慮事項

対象となる者	配慮する事項（例）					必要な提出書類
	全ての技能において配慮する事項	リスニング	リーディング	ライティング	スピーキング	
聴覚に関する配慮を必要とするもの	- 試験受付までの付添者の同伴 - 座席配置 - 試験開始・終了の明確な伝達 - 補聴器の装着 - 注意事項等の文書による確実な伝達 - 症状や受検方法により別教室を用意	- 免除 - 補聴器、ワイヤレスシステム、ヘッドホン、特別増幅器等の機器の使用 - 別室受験 - 聴覚障害者用（リップリーディング）リスニング試験の実施 - 音声を再生する代わりに試験監督者（リスニングテストを実施する担当者）が試験問題を読み上げる - 試験の流れ、記入方法及び試験時間等をPower Pointを使用し、教室正面のスクリーンにて常に表示する	試験の流れ、記入方法及び試験時間等をPower Pointを使用し、教室正面のスクリーンにて常に表示する	試験の流れ、記入方法及び試験時間等をPower Pointを使用し、教室正面のスクリーンにて常に表示する	- スピーキングテストの免除 - 試験時間の延長	医療機関が発行する診断書

【ウ】肢体不自由に関する配慮事項

対象となる者	配慮する事項（例）					必要な提出書類
	全ての技能において配慮する事項	リスニング	リーディング	ライティング	スピーキング	
肢体不自由に関する配慮を必要とする者	- 試験室受付までの付添者の同伴 1階又はエレベーターが利用可能な試験室での受検 - 洋式トイレ又は障害者用トイレに近い試験室で受検 - 症状や受検方法により別室の設定 - 試験時間の延長や休憩時間の追加 - 車椅子の持参使用又は試験場での準備 - 廊下、トイレ、試験室に入出りできるための取り計らい - 試験室の机や椅子の高さの調節 - 十分なスペースを確保 - 代筆者の申請					医療機関が発行する診断書

【エ】病弱に関する配慮事項

対象となる者	配慮する事項（例）					必要な提出書類
	全ての技能において配慮する事項	リスニング	リーディング	ライティング	スピーキング	
慢性的呼吸器疾患、心臓疾患、肝臓疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者	- エレベーターが利用可能な試験室で受検 - 試験時間の延長 - 試験受付までの付添者の同伴 - 監督下での休憩 - 座席配置の配慮 - 症状や受検方法により別室の設定 - 回答にあたってのコンピュータの使用 - 問題用紙の読み上げ - 複写（もしくは書き起こし）の設備 - 解答用紙への記入の援助 - 透明な色付きのオーバーレイ - 試験問題の大活字版 - その他の機器 - 症状及び受検方法により別室の確保又は座席を試験室の出入口に近いところに指定 - 必要な医療器具・薬の持ち込み可					医療機関が発行する診断書

【オ】発達障害に関する配慮事項

対象となる者	配慮する事項（例）					必要な提出書類
	全ての技能において配慮する事項	リスニング	リーディング	ライティング	スピーキング	
自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害のため配慮を必要とするもの	・試験時間の延長 ・試験受付までの付添者の同伴 ・監督下での休憩 ・座席配置の配慮 ・症状や受検方法により別室の設定 ・回答にあたってのコンピュータの使用 ・問題用紙の読み上げ ・複写（もしくは書き起こし）の設備 ・解答用紙への記入の援助 ・透明な色付きのオーバーレイ ・試験問題の大活字版 ・その他の機器 ・症状及び受検方法により別室の確保又は座席を試験室の出入口に近いところに指定					・医療機関が発行する診断書

【カ】その他の配慮事項（【ア】～【オ】の区分以外の者）

対象となる者	配慮する事項（例）					必要な提出書類
	全ての技能において配慮する事項	リスニング	リーディング	ライティング	スピーキング	
【ア】～【オ】の区分以外の者で配慮を必要とするもの	・座席配置の配慮 ・症状及び受検方法によって別室の設定					・医療機関が発行する診断書

障害等のある受検生への合理的な配慮 配慮内容例

TEAP① 別紙3

試験名：TEAP
実施主体名：公益財団法人日本英語検定協会
※各区分に記載している「配慮する事項」は、代表的な事項を例として掲載しています。なお、表に記載がない受検上の配慮を希望する場合は、各資格・検定試験実施主体に相談してください。（英検サービスセンター TEAP運営事務局 03-3266-6556） *TEAP CBTについては、障がい等のある方への特別措置対応は、「TEAP」にて承っております。

【ア】視覚に関する配慮事項						
対象となる者	配慮する事項（例）					必要な提出書類
	全ての技能において配慮する事項	リスニング	リーディング	ライティング	スピーキング	
全盲の方		・別室 ・解答時間 延長（通常10秒→20秒） ・Part1C 図表の理解と組み合わせた英文の聞き取り（5問）免除 ・Part2B 長い英文の聞き取り（図表も含む） …不自由の度合いを考慮し、表・数値・グラフ等で出題 ・点字（2級点字（縮約使用））の問題冊子を使用して受験し、点字用解答用紙に解答する方法	・別室 ・時間延長 ・Part2A 図表の読み取り …不自由の度合いを考慮し、表・数値・グラフ等で出題 ・Part3B 長い英文の読み取り（図表も含む） …不自由の度合いを考慮し、表・数値・グラフ等で出題 ・点字（2級点字（縮約使用））の問題冊子を使用して受験し、点字用解答用紙に解答する方法	・別室 ・時間延長 ・問題文中の図表については、不自由の度合いを考慮し、グラフまたは数値化等で出題 ・点字（2級点字（縮約使用））の問題冊子を使用して受験し、点字用解答用紙に解答する方法	・一般同室（優先受験） ・別室（オプリスコープ） ※機器設置・撤収のため（優先受験） ・トピックカードの読み取り時間の延長措置 ・点字（2級点字（縮約使用））のトピックカードを使用して受験	
弱視（障害程度等級が6級より重度）の方	・時間延長 ・点字 ・拡大墨字A3 ・普通墨字A4 ・オプチスコープ ・機器の持参使用（点字盤、バーキンス、ルーペ・拡大機器、オプチスコープ、照明器具、触知時計） ・介助者の同伴（試験中は除く） ・乗用車での来場	・別室 ・解答時間 延長（通常10秒→20秒） ・Part1C 図表の理解と組み合わせた英文の聞き取り（5問）免除 ・Part2B 長い英文の聞き取り（図表も含む） …不自由の度合いを考慮し、表・数値・グラフ等で出題 ・拡大墨字A3での実施 …弱視用のA3問題冊子（25Pゴシック系文字）を使用して受験し、A3の拡大文字解答用紙に解答番号を書き込む方法。 …普通墨字A4での実施 …弱視用のA4問題冊子（18Pゴシック系文字）を使用して受験し、A4の文字解答用紙に解答番号を書き込む方法。 ・オプチスコープでの実施 …弱視用のA4問題冊子（18Pゴシック系文字）をオプチスコープで拡大して受験し、直接問題冊子に○をつけて解答する方法。	・別室 ・時間延長 ・Part2A 図表の読み取り …不自由の度合いを考慮し、表・数値・グラフ等で出題 ・Part3B 長い英文の読み取り（図表も含む） …不自由の度合いを考慮し、表・数値・グラフ等で出題 ・拡大墨字A3での実施 …弱視用のA3問題冊子（25Pゴシック系文字）を使用して受験し、A3の拡大文字解答用紙に解答番号を書き込む方法。 …普通墨字A4での実施 …弱視用のA4問題冊子（18Pゴシック系文字）を使用して受験し、A4の文字解答用紙に解答番号を書き込む方法。 ・オプチスコープでの実施 …弱視用のA4問題冊子（18Pゴシック系文字）をオプチスコープで拡大して受験し、直接問題冊子に○をつけて解答する方法。	・別室 ・時間延長 ・問題文中の図表については、不自由の度合いを考慮し、グラフまたは数値化等で出題 ・拡大墨字A3での実施 …弱視用のA3問題冊子（25Pゴシック系文字）を使用して受験し、A3の拡大文字解答用紙に解答番号を書き込む方法。 ・普通墨字A4での実施 …弱視用のA4問題冊子（18Pゴシック系文字）を使用して受験し、A4の文字解答用紙に解答番号を書き込む方法。 ・オプチスコープでの実施 …弱視用のA4問題冊子（18Pゴシック系文字）をオプチスコープで拡大して受験し、A3の拡大解答用紙に解答番号を書き込む方法。	・一同室（優先受験） ・別室（オプリスコープ） ※機器設置・撤収のため（優先受験） ・トピックカードの読み取り時間の延長措置 …拡大墨字A3での実施 …25Pゴシック系文字を使用した拡大トピックカードで受験。 …普通墨字A4での実施 …18Pゴシック系文字を使用したトピックカードで受験。 …オプチスコープでの実施 …通常のトピックカードをオプチスコープで拡大して受験。	・TEAP特別措置申請書 ・障がいの程度を証明する書類（障害手帳のコピー、医師の診断書等）
それ以外の視覚障がい者の方		・文字解答 …文字解答用紙に解答番号を書き込む方法。	・文字解答 …文字解答用紙に解答番号を書き込む方法。	・文字解答 …文字解答用紙に解答番号を書き込む方法。	・優先受験 …受験者の不自由の度合いを考慮して面接室に誘導し、優先的に面接を受けてもらう措置。	

【イ】聴覚に関する配慮事項						
対象となる者	配慮する事項（例）					必要な提出書類
	全ての技能において配慮する事項	リスニング		ライティング	スピーキング	
障害程度等級が6級以上の方	・機器の持参使用（補聴器、FMマイク付き補聴器）	・リスニングテスト免除 …不自由の度合いを考慮し、リスニングテストを免除。 ・強音放送 …リスニングテストを別室にてボリュームを上げて受験。	・座席配置 …リスニングテストの座席配置措置のため、スピーカー近くに座席を配置して受験。 ※強音放送のみ別室 ※受験者心得を文字で提供	・座席配置 …リスニングテストの座席配置措置のため、スピーカー近くに座席を配置して受験。 ※強音放送のみ別室 ※受験者心得を文字で提供	・スピーキングテスト免除 …不自由の度合いを考慮し、スピーキングテストを免除。 ・FC+口話 …Examinerからの指示・質問およびPart2でのロールプレイでは、英文が書かれたフラッシュカードを提示。受験者は口頭発話で応答・発問。 ※受験者心得を文字で提供 ※一般同室（優先受験） ※フラッシュカード提示のため、通常時間よりは長くなる	・TEAP特別措置申請書 ・障がいの程度を証明する書類（障害手帳のコピー、医師の診断書等）
それ以外の難聴者の方		・座席配置 …スピーカー近くに座席を配席。	・座席配置 …リスニングテストの座席配置措置のため、スピーカー近くに座席を配席。	・座席配置 …リスニングテストの座席配置措置のため、スピーカー近くに座席を配席。	・大声 …通常通りの面接を行うが、初めに聞こえ具合を確認し、大きめの声で行う。 ※一般同室（優先受験）	

【ウ】肢体不自由に関する配慮事項

対象となる者	配慮する事項（例）					必要な提出書類
	全ての技能において配慮する事項	リスニング	リーディング	ライティング	スピーキング	
障害程度等級が4級以上の上肢障がい者の方	・介助者の同伴（試験中は除く） ・乗用車での来場	・口述解答 …上肢が不自由なため自力での解答が困難な場合に、受験者が口述した解答を、試験監督者がマークシートに転記する方法。 ※別室 ・チェック解答（時間延長あり） …上肢が不自由なためマークシートではなく問題冊子に直接○をつけて解答する方法。問題冊子は事前申告にあわせ、拡大（A3）と普通（A4）の内、どちらかを使用。 ※別室 ※解答時間延長（通常10秒→20秒） ・机の持参使用	・口述解答 …上肢が不自由なため自力での解答が困難な場合に、受験者が口述した解答を、試験監督者がマークシートに転記する方法。 ※別室 ・チェック解答（時間延長あり） …上肢が不自由なためマークシートではなく問題冊子に直接○をつけて解答する方法。問題冊子は事前申告にあわせ、拡大（A3）と普通（A4）の内、どちらかを使用。 ※別室 ※時間延長 ・机の持参使用	・ライティングテスト免除 …不自由の度合いを考慮し、ライティングテストを免除。 ・拡大解答用紙への解答 …上肢が不自由なため拡大解答用紙に解答する方法。解答用紙は事前申告にあわせ、拡大（A3）と普通（A4）の内、どちらかを使用。 ※別室 ※時間延長 ・PCによる解答 …上肢が不自由なため協会が用意するWindows搭載のタブレットPCを用いて、テキスト文書を作成して解答する方法。Wordなどの文章作成ソフトは使用できない。（申請後に同意書の提出が必要）タブレットPCにはタッチペンが付属。 ※別室 ※時間延長 ※事前申請により許可 ※キーボード持込 ※マウス持込 ※USB差込口は1つ。 ※個人PCの持込不可 ※ソフトウェアのインストール不可 ・机の持参使用	・優先受験 …受験者の不自由の度合いを考慮して面接室に誘導し、優先的に面接を受けてもらう措置。スピーキングテストの実施方法は通常通り。 ※一般同室（優先受験）	・TEAP特別措置申請書 ・障がいの程度を証明する書類（障害手帳のコピー、医師の診断書等）
上記以外の上肢障がい者の方		・チェック解答（時間延長なし） …上肢が不自由なためマークシートではなく問題冊子に直接○をつけて解答する方法。問題冊子は事前申告にあわせ、拡大（A3）と普通（A4）の内、どちらかを使用。 ・机の持参使用	・チェック解答（時間延長なし） …上肢が不自由なためマークシートではなく問題冊子に直接○をつけて解答する方法。問題冊子は事前申告にあわせ、拡大（A3）と普通（A4）の内、どちらかを使用。 ・机の持参使用	・拡大解答用紙への解答 …上肢が不自由なため拡大解答用紙に解答する方法。解答用紙は事前申告にあわせ、拡大（A3）と普通（A4）の内、どちらかを使用。 ・机の持参使用	・優先受験 …受験者の不自由の度合いを考慮して面接室に誘導し、優先的に面接を受けてもらう措置。スピーキングテストの実施方法は通常通り。 ※一般同室（優先受験）	
下肢障がい者の方・体幹機能障がい者の方		・試験会場内での移動や席への配置に配慮。 ※会場設備により別室受験となる場合がある。 ・机の持参使用	・試験会場内での移動や席への配置に配慮。 ※会場設備により別室受験となる場合がある。 ・机の持参使用	・試験会場内での移動や席への配置に配慮。 ※会場設備により別室受験となる場合がある。 ・机の持参使用	・優先受験 …受験者の不自由の度合いを考慮して面接室に誘導し、優先的に面接を受けてもらう措置。スピーキングテストの実施方法は通常通り。 ※一般同室（優先受験）	

【エ】病弱に関する配慮事項

対象となる者	配慮する事項（例）					必要な提出書類
	全ての技能において配慮する事項	リスニング	リーディング	ライティング	スピーキング	
病弱体質で特別措置申請をされた方	・介助者の同伴（試験中は除く） ・乗用車での来場 ・車椅子の持参使用	・試験会場内での移動や席への配置に配慮。 ※会場設備により別室受験となる場合がある。 ・別室（時間延長なし） …受験者の状況により必要と判断された場合は別室での受験を設定。試験方法は一般と同一。 ・机の持参使用	・試験会場内での移動や席への配置に配慮。 ※会場設備により別室受験となる場合がある。 ・別室（時間延長なし） …受験者の状況により必要と判断された場合は別室での受験を設定。試験方法は一般と同一。 ・机の持参使用	・試験会場内での移動や席への配置に配慮。 ※会場設備により別室受験となる場合がある。 ・別室（時間延長なし） …受験者の状況により必要と判断された場合は別室での受験を設定。試験方法は一般と同一。 ・机の持参使用	・優先受験 …受験者の不自由の度合いを考慮して面接室に誘導し、優先的に面接を受けてもらう措置。スピーキングテストの実施方法は通常通り。 ※一般同室（優先受験）	・TEAP特別措置申請書 ・障がいの程度を証明する書類（障害手帳のコピー、医師の診断書等）

【オ】発達障害に関する配慮事項

対象となる者	配慮する事項（例）					必要な提出書類
	全ての技能において配慮する事項	リスニング	リーディング	ライティング	スピーキング	
発達障がい等で特別措置申請をされた方	・介助者の同伴（試験中は除く） ・乗用車での来場	・座席配置 …受験者の状況により教室内での座席を予め設定。試験方法は一般と同一。 ・時間延長 …学習障がい等により必要と判断された場合は、試験時間を延長し、別室での受験を設定。技能別に申請できる。 ※解答時間延長（通常10秒→20秒） ※別室 ・別室（時間延長なし） …受験者の状況により必要と判断された場合は別室での受験を設定。試験方法は一般と同一。 ・解答方法 …マークシート以外での解答方法を希望する場合は、視覚障がい者用・上肢障がい者用の資材を転用できる。申請書の「特記事項」欄にその旨を記載。	・座席配置 …受験者の状況により教室内での座席を予め設定。試験方法は一般と同一。 ・時間延長 …学習障がい等により必要と判断された場合は、試験時間を延長し、別室での受験を設定。技能別に申請できる。 ※別室 ・別室（時間延長なし） …受験者の状況により必要と判断された場合は別室での受験を設定。試験方法は一般と同一。 ・解答方法 …マークシート以外での解答方法を希望する場合は、視覚障がい者用・上肢障がい者用の資材を転用できる。申請書の「特記事項」欄にその旨を記載。	・座席配置 …受験者の状況により教室内での座席を予め設定。試験方法は一般と同一。 ・時間延長 …学習障がい等により必要と判断された場合は、試験時間を延長し、別室での受験を設定。技能別に申請できる。 ※別室 ・別室（時間延長なし） …受験者の状況により必要と判断された場合は別室での受験を設定。試験方法は一般と同一。 ・解答方法 …マークシート以外での解答方法を希望する場合は、視覚障がい者用・上肢障がい者用の資材を転用できる。申請書の「特記事項」欄にその旨を記載。	・優先受験 …受験者の不自由の度合いを考慮して面接室に誘導し、優先的に面接を受けてもらう措置。スピーキングテストの実施方法は通常通り。 ※一般同室（優先受験）	・TEAP特別措置申請書 ・障がいの程度を証明する書類（障害手帳のコピー、医師の診断書等）

【カ】その他の配慮事項（【ア】～【オ】の区分以外の者）

対象となる者	配慮する事項（例）					必要な提出書類
	全ての技能において配慮する事項	リスニング	リーディング	ライティング	スピーキング	
器質性、運動障がい等で特別措置申請をされた方	・介助者の同伴（試験中は除く）				・スピーキングテスト免除 …不自由の度合いを考慮しスピーキングテストを免除。 ・発話への配慮 …話が詰まる、大きな声が出ないなどの状況をExaminerに伝え、注意して聞くよう配慮。面接の実施方法は通常通り。 ※一般同室（優先受験）	・TEAP特別措置申請書 ・障がいの程度を証明する書類（障害手帳のコピー、医師の診断書等）
吃音症その他で特別措置申請をされた方					・発話への配慮 …話が詰まる、大きな声が出ないなどの状況をExaminerに伝え、注意して聞くよう配慮。面接の実施方法は通常通り。 ※一般同室（優先受験）	

試験名：TOEFL iBTテスト
実施主体名：Educational Testing Service

※各区分に記載している「配慮する事項」は、代表的な事項を例として掲載しています。なお、表に記載がない受検上の配慮を希望する場合は、各資格・検定試験実施主体に相談してください。

(Educational Testing Service (ETS) *英語のみ対応可 Email:stassd@ets.org/電話:1-609-771-7780、
またはRegional Registration Center (RRC)プロメトリック株式会社 電話:03-6204-9830)

【ア】視覚に関する配慮事項

対象となる者	配慮する事項（例）					必要な提出書類
	全ての技能において配慮する事項	リスニング	リーディング	ライティング	スピーキング	
必要提出書類提出後、ETSに承認された者	・試験時間の延長や休憩時間の追加 ・人間工学に基づくキーボードの使用 ・IntelliKeys® キーボードの使用 ・タッチパッド付きキーボードの使用 ・タブレットやPCによる問題の拡大表示 ・前景・背景のカラー選択 ・トラックボールの使用 ・音読者の配置 ・代筆者の配置 ・大型活字版テスト問題冊子の使用 ・大型活字版解答用紙の使用 ・オーディオ版テストの使用 ・点字板とペンの使用 ・6点式点字タイプライターの使用 ・点字問題冊子の使用					・TOEFL iBT Registration Form for Test Takers with Disabilities or Health-related Needs ・Testing Accommodations Request Form ・Disability Documentation（必要な場合のみ）

【イ】聴覚に関する配慮事項

対象となる者	配慮する事項（例）					必要な提出書類
	全ての技能において配慮する事項	リスニング	リーディング	ライティング	スピーキング	
必要提出書類提出後、ETSに承認された者	・試験時間の延長や休憩時間の追加 ・人間工学に基づくキーボードの使用 ・IntelliKeys® キーボードの使用 ・タッチパッド付きキーボードの使用 ・タブレットやPCによる問題の拡大表示 ・前景・背景のカラー選択 ・トラックボールの使用 ・音読者の配置 ・代筆者の配置 ・大型活字版テスト問題冊子の使用 ・大型活字版解答用紙の使用 ・オーディオ版テストの使用 ・口語通訳者の配置 ・手話通訳者の配置	・免除			・免除	・TOEFL iBT Registration Form for Test Takers with Disabilities or Health-related Needs ・Testing Accommodations Request Form ・Disability Documentation（必要な場合のみ）

【ウ】肢体不自由に関する配慮事項

対象となる者	配慮する事項（例）					必要な提出書類
	全ての技能において配慮する事項	リスニング	リーディング	ライティング	スピーキング	
必要提出書類提出後、ETSに承認された者	・試験時間の延長や休憩時間の追加 ・人間工学に基づくキーボードの使用 ・IntelliKeys® キーボードの使用 ・タッチパッド付きキーボードの使用 ・タブレットやPCによる問題の拡大表示 ・前景・背景のカラー選択 ・トラックボールの使用 ・音読者の配置 ・代筆者の配置 ・大型活字版テスト問題冊子の使用 ・大型活字版解答用紙の使用 ・オーディオ版テストの使用					・TOEFL iBT Registration Form for Test Takers with Disabilities or Health-related Needs ・Testing Accommodations Request Form ・Disability Documentation（必要な場合のみ）

【エ】病弱に関する配慮事項

対象となる者	配慮する事項（例）					必要な提出書類
	全ての技能において配慮する事項	リスニング	リーディング	ライティング	スピーキング	
必要提出書類提出後、ETSに承認された者	・試験時間の延長や休憩時間の追加 ・人間工学に基づくキーボードの使用 ・IntelliKeys® キーボードの使用 ・タッチパッド付きキーボードの使用 ・タブレットやPCによる問題の拡大表示 ・前景・背景のカラー選択 ・トラックボールの使用 ・音読者の配置 ・代筆者の配置 ・大型活字版テスト問題冊子の使用 ・大型活字版解答用紙の使用 ・オーディオ版テストの使用 ・別室の設定					・TOEFL iBT Registration Form for Test Takers with Disabilities or Health-related Needs ・Testing Accommodations Request Form ・Disability Documentation（必要な場合のみ）

【オ】発達障害に関する配慮事項

対象となる者	配慮する事項（例）					必要な提出書類
	全ての技能において配慮する事項	リスニング	リーディング	ライティング	スピーキング	
必要提出書類提出後、ETSに承認された者	・試験時間の延長や休憩時間の追加 ・人間工学に基づくキーボードの使用 ・IntelliKeys® キーボードの使用 ・タッチパッド付きキーボードの使用 ・タブレットやPCによる問題の拡大表示 ・前景・背景のカラー選択 ・トラックボールの使用 ・音読者の配置 ・代筆者の配置 ・大型活字版テスト問題冊子の使用 ・大型活字版解答用紙の使用 ・オーディオ版テストの使用					・TOEFL iBT Registration Form for Test Takers with Disabilities or Health-related Needs ・Testing Accommodations Request Form ・Disability Documentation（必要な場合のみ）

【カ】その他の配慮事項（【ア】～【オ】の区分以外の者）

対象となる者	配慮する事項（例）					必要な提出書類
	全ての技能において配慮する事項	リスニング	リーディング	ライティング	スピーキング	
必要提出書類提出後、ETSに承認された者	・試験時間の延長や休憩時間の追加 ・人間工学に基づくキーボードの使用 ・IntelliKeys® キーボードの使用 ・タッチパッド付きキーボードの使用 ・タブレットやPCによる問題の拡大表示 ・前景・背景のカラー選択 ・トラックボールの使用 ・音読者の配置 ・代筆者の配置 ・大型活字版テスト問題冊子の使用 ・大型活字版解答用紙の使用 ・オーディオ版テストの使用					・TOEFL iBT Registration Form for Test Takers with Disabilities or Health-related Needs ・Testing Accommodations Request Form ・Disability Documentation（必要な場合のみ）

障害等のある受検生への合理的な配慮 配慮内容例

TOEIC® L&R・S&W 別紙3

試験名：TOEIC® L&R・S&W(TOEIC® Listening & Reading Test および TOEIC® Speaking & Writing Tests)

実施主体名：一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会

※各区分に記載している「配慮する事項」は、代表的な事項を例として掲載しています。なお、表に記載がない受検上の配慮を希望する場合は、各資格・検定試験実施主体に相談してください。(03-5521-6033)

【ア】視覚に関する配慮事項

対象となる者	配慮する事項（例）					必要な提出書類
	全ての技能において配慮する事項	リスニング	リーディング	ライティング	スピーキング	
全盲、弱視、その他視覚障がい者	- 試験時間延長（1.5/2倍） - 座席配置 - 持込（ルーペやカラーサングラス/照明器具/拡大読書器/定規等） - 乗用車での来場 - 付添者の同伴・同室待機 - 可能な範囲での会場指定	- 拡大版解答用紙 - 拡大版問題用紙 - 白黒反転問題用紙（拡大版/通常版）の配布 - 問題用紙への直接解答 - 試験時間延長（1.5/2倍） - 点字受験（EBAE） ※ただし、2020年11月まではUEB/EBAE両方提供可能 - 教室指定（照度暗め） - 座席配置（窓側の座席） - 休憩時間の設定 - 持込（ルーペやカラーサングラス/照明器具/拡大読書器/定規等） - 乗用車での来場 - 付添者の同伴・同室待機 - 可能な範囲での会場指定	- 拡大版解答用紙 - 拡大版問題用紙 - 白黒反転問題用紙（拡大版/通常版）の配布 - 問題用紙への直接解答 - 試験時間延長（1.5/2倍） - 点字受験（EBAE） ※ただし、2020年11月まではUEB/EBAE両方提供可能 - 教室指定（照度暗め） - 座席配置 - 休憩時間の設定 - 持込（ルーペやカラーサングラス/照明器具/拡大読書器/定規等） - 乗用車での来場 - 付添者の同伴・同室待機 - 可能な範囲での会場指定	- 試験時間延長（1.5/2倍） - 座席配置 - 持込（ルーペやカラーサングラス/定規等） - 乗用車での来場 - 可能な範囲での会場指定	- 試験時間延長（1.5/2倍） - 座席配置 - 持込（ルーペやカラーサングラス/定規等） - 乗用車での来場 - 可能な範囲での会場指定	ブライオリティサポート依頼書と証明書類のコピー（身体障害者手帳/医師の診断書）

【イ】聴覚に関する配慮事項

対象となる者	配慮する事項（例）					必要な提出書類
	全ての技能において配慮する事項	リスニング	リーディング	ライティング	スピーキング	
聴覚障がい者、難聴者	- 座席配置 - 人工内耳/補聴器の装着 - 事前説明を文書にて案内	- イヤホン/ヘッドホンを持参して受験 - 別室にてボリュームを上げて受験 - 一方受験（Lのみ） - 教室指定（CDプレーヤー教室/小教室等） - 座席配置（スピーカー近く） - 人工内耳/補聴器の装着 - 人工内耳等に持参したコードを接続、イヤホン貸与 - 音声による事前説明を文書にて案内		- 座席配置 - 人工内耳/補聴器の装着 - 事前説明を文書にて案内	- 座席配置 - Speakingアストにおいてヘッドセット使用不可者に対してマイクを準備 - 人工内耳/補聴器の装着 - 事前説明を文書にて案内	ブライオリティサポート依頼書と証明書類のコピー（身体障害者手帳/医師の診断書/オーディオグラム等）

【ウ】肢体不自由に関する配慮事項

対象となる者	配慮する事項（例）					必要な提出書類
	全ての技能において配慮する事項	リスニング	リーディング	ライティング	スピーキング	
体幹機能障がい者、上肢障がい者、下肢障がい者（車椅子/杖等）、その他肢体不自由者	- 試験時間延長（1.5/2倍） - 座席配置、休憩時間の設定 - 車椅子/杖等補助具の持参使用 - 持込 - 乗用車での来場 - 可能な範囲での会場指定	- 拡大版解答用紙の配布 - 問題用紙への直接解答 - 代筆受験 - 試験時間延長（1.5/2倍） - バリアフリー会場指定 - 教室指定（トイレ付近） - 座席配置（出入口付近等） - 休憩時間の設定 - 希望サイズを満たした机椅子補助具等の準備/持込 - 車椅子/杖等補助具の持参使用 - 問題用紙ページめくり - 文鎮等持込 - 乗用車での来場 - 付添者の同伴・同室待機 - 可能な範囲での会場指定	- 拡大版解答用紙の配布 - 問題用紙への直接解答 - 代筆受験 - 試験時間延長（1.5/2倍） - バリアフリー会場指定 - 教室指定（トイレ付近） - 座席配置（出入口付近等） - 休憩時間の設定 - 希望サイズを満たした机椅子補助具等の準備/持込 - 車椅子/杖等補助具の持参使用 - 問題用紙ページめくり - 文鎮等持込 - 乗用車での来場 - 付添者の同伴・同室待機 - 可能な範囲での会場指定	- 試験時間延長（1.5/2倍） - 座席配置 - 乗用車での来場 - バリアフリー会場指定 - 可能な範囲での会場指定	- 試験時間延長（1.5/2倍） - 座席配置 - 乗用車での来場 - バリアフリー会場指定 - 可能な範囲での会場指定	ブライオリティサポート依頼書と証明書類のコピー（身体障害者手帳/医師の診断書）

【エ】病弱に関する配慮事項

対象となる者	配慮する事項（例）					必要な提出書類
	全ての技能において配慮する事項	リスニング	リーディング	ライティング	スピーキング	
呼吸、心臓、腎臓等の疾患により受験に際して個別の配慮を必要とする者	- 座席配置 - 水や薬の服用 - 乗用車での来場 - 可能な範囲での会場指定	- 別室受験 - 教室指定（トイレ付近/小教室等） - 座席配置（出入口付近等） - 休憩時間の設定 - 水や薬の服用 - 乗用車での来場 - 付添者の同伴・同室待機 - 可能な範囲での会場指定	- 別室受験 - 教室指定（トイレ付近/小教室等） - 座席配置（出入口付近等） - 休憩時間の設定 - 水や薬の服用 - 乗用車での来場 - 付添者の同伴・同室待機 - 可能な範囲での会場指定	- 座席配置 - 水や薬の服用 - 乗用車での来場 - 可能な範囲での会場指定	- 座席配置 - 水や薬の服用 - 乗用車での来場 - 可能な範囲での会場指定	ブライオリティサポート依頼書と証明書類のコピー（身体障害者手帳/精神障害者保健福祉手帳/医師の診断書）

【オ】発達障害に関する配慮事項

対象となる者	配慮する事項（例）					必要な提出書類
	全ての技能において配慮する事項	リスニング	リーディング	ライティング	スピーキング	
自閉症、アスペルガー症候群、学習障害等のため、個別の配慮を必要とする者	- 試験時間延長（1.5/2倍） - 座席配置 - 休憩時間の設定 - 持込 - 乗用車での来場 - 可能な範囲での会場指定	- 拡大版解答用紙、問題用紙の配布 - 問題用紙への直接解答 - 代筆受験 - 試験時間延長（1.5/2倍） 2倍以上の試験時間延長 - 一方受験（Rのみ/Lのみ） - リスニングリピート受験 - イヤホン/ヘッドホン受験 - 別室受験 - 教室指定（トイレ付近/小教室） - 座席配置 - 休憩時間の設定 - 解答用紙所定欄以外への書込許可 - 持込（定規、耳栓等） - 水や薬の服用 - 付添者の同伴・同室待機 - 可能な範囲での会場指定	- 拡大版解答用紙、問題用紙の配布 - 問題用紙への直接解答 - 代筆受験 - 試験時間延長（1.5/2倍） 2倍以上の試験時間延長 - 一方受験（Rのみ/Lのみ） - 別室受験 - 教室指定（トイレ付近/小教室） - 座席配置 - 休憩時間の設定 - 解答用紙所定欄以外への書込許可 - 持込（定規、耳栓等） - 水や薬の服用 - 付添者の同伴・同室待機 - 可能な範囲での会場指定	- 試験時間延長（1.5/2倍） - 座席配置 - 乗用車での来場 - バリアフリー会場指定 - 可能な範囲での会場指定	- 試験時間延長（1.5/2倍） - 座席配置 - 乗用車での来場 - バリアフリー会場指定 - 可能な範囲での会場指定	ブライオリティサポート依頼書と証明書類のコピー（身体障害者手帳/精神障害者保健福祉手帳/医師の診断書）

【カ】その他の配慮事項（【ア】～【オ】の区分以外の者）

対象となる者	配慮する事項（例）					必要な提出書類
	全ての技能において配慮する事項	リスニング	リーディング	ライティング	スピーキング	
その他の病気や怪我、体調不良等で個別の配慮を必要とする者	受験者の状態や希望を考慮した上で、上記配慮の何れかまたは複数の対応を行う	受験者の状態や希望を考慮した上で、上記配慮の何れかまたは複数の対応を行う	受験者の状態や希望を考慮した上で、上記配慮の何れかまたは複数の対応を行う	受験者の状態や希望を考慮した上で、上記配慮の何れかまたは複数の対応を行う	受験者の状態や希望を考慮した上で、上記配慮の何れかまたは複数の対応を行う	ブライオリティサポート依頼書と証明書類のコピー（身体障害者手帳/精神障害者保健福祉手帳/医師の診断書/その他当協会が認めた証明書類）

ケンブリッジ英語検定 別紙 A「大学に提供される成績情報 特記事項」

ケンブリッジ英語検定の各試験はすべて、認定結果(Certificated Results)、総合スコア(Overall Score)、総合 CEFR 段階別表示(CEFR Level)、技能別スコアが結果ステートメント(Statement of Results)に示されます。

※Cambridge English Scale のスコア 80～230 は 1(点)刻みです。

■各試験の技能区分

* UoE=Use of English 文法・語彙

		R	UoE*	W	R&W	L	S	Overall 総合 スコア計算式
	C2 Proficiency							
	C1 Advanced	●	●	●	—	●	●	$(R+UoE+W+L+S)/5$
B2 First for Schools	B2 First							
B1 Preliminary for Schools	B1 Preliminary	●	—	●	—	●	●	$(R+W+L+S)/4$
A2 Key for Schools	A2 Key	—	—	—	●	●	●	$(R+W \times 2 + L + S)/4$





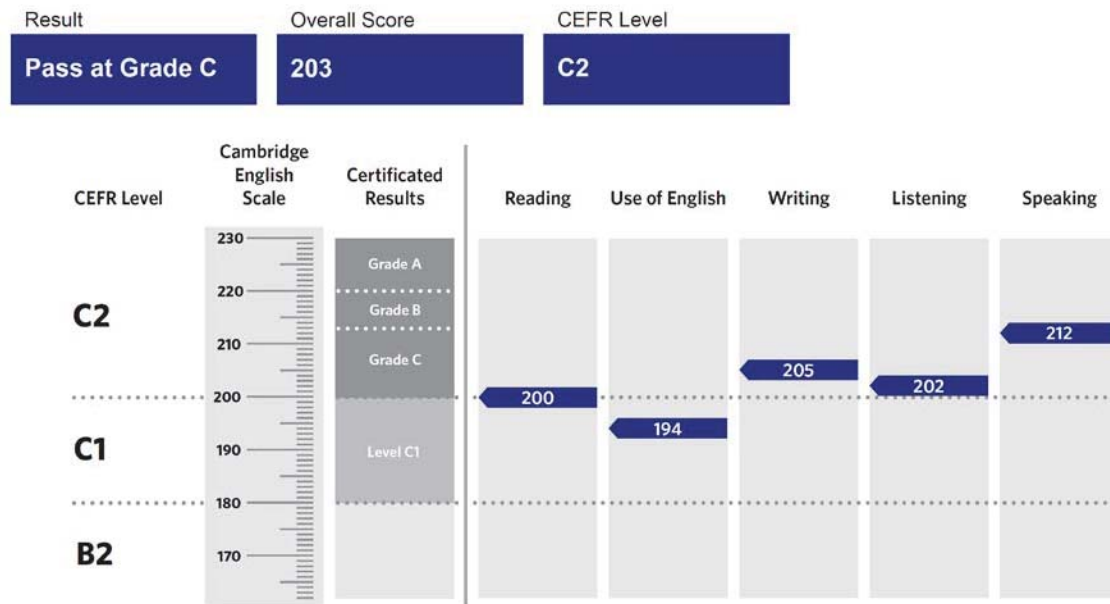

各試験の結果ステートメント(Statement of Results)の例は以下のとおりです。

C2 Proficiency

ある受検者の技能別スコアが Reading 200, Use of English 194, Writing 205, Listening 202, Speaking 212 の場合、

スコア計算式 : $(200+194+205+202+212) \div 5 = 202.6 \div 203$ (Overall Score)

= Pass at Grade C = CEFR Level C2



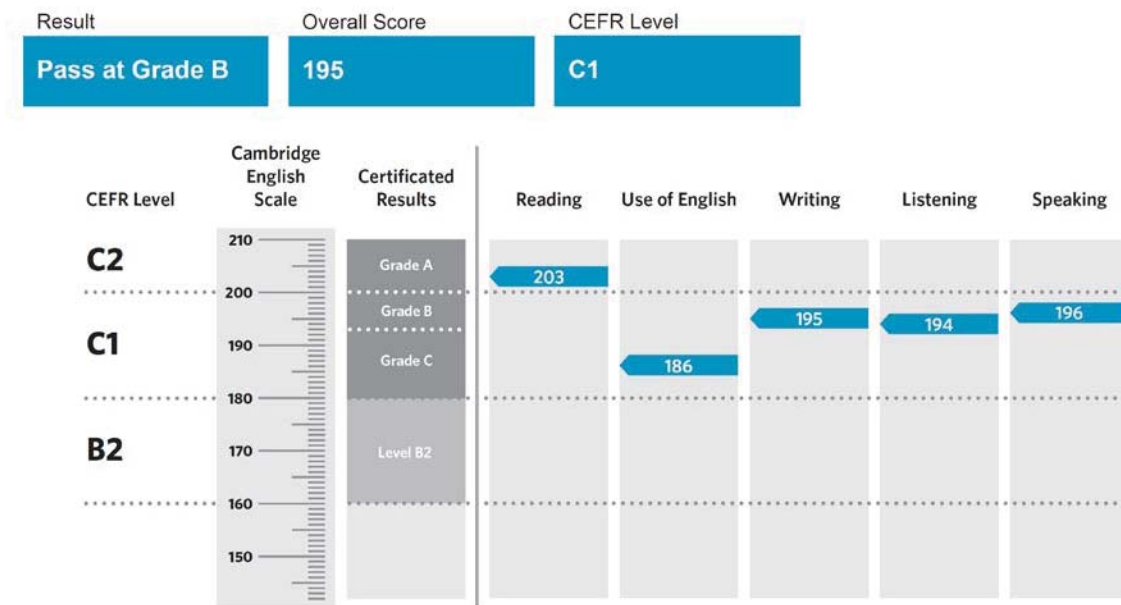
➡ 「大学入試英語成績提供システム」において、大学入試センター及び大学に送られる成績データは、「Result」「Overall Score」「CEFR Level」の3つ及び技能別スコア「Reading」「Use of English」「Writing」「Listening」「Speaking」です。

C1 Advanced

ある受検者の技能別スコアが Reading 203, Use of English 186, Writing 195, Listening 194, Speaking 196 の場合、

スコア計算式 : $(203+186+195+194+196) \div 5 = 194.8 \div 195$ (Overall Score)

= Pass at Grade B = CEFR Level C1



➡ 「大学入試英語成績提供システム」において、大学入試センター及び大学に送られる成績データは、「Result」「Overall Score」「CEFR Level」の3つ及び技能別スコア「Reading」「Use of English」「Writing」「Listening」「Speaking」です。

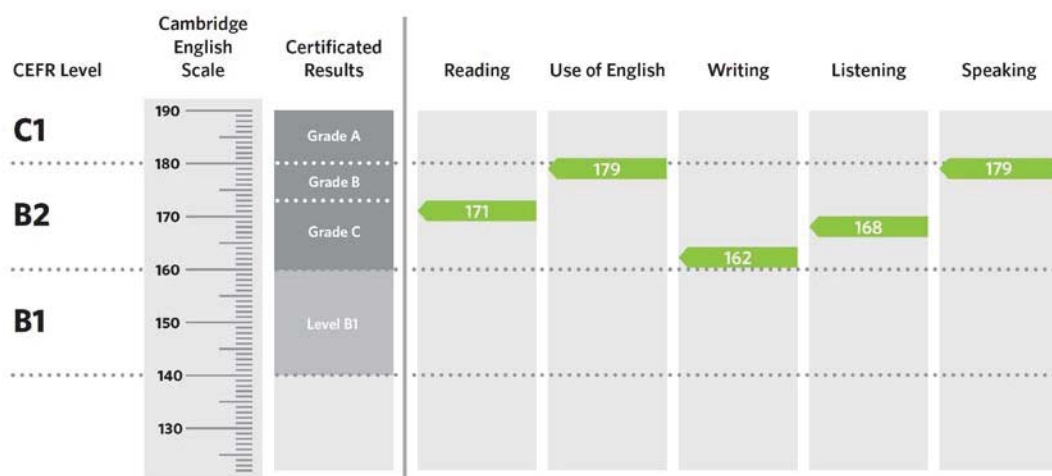
B2 First / B2 First for Schools

ある受検者の技能別スコアが Reading 171, Use of English 179, Writing 162, Listening 168, Speaking 179 の場合、

スコア計算式 : $(171+179+162+168+179) \div 5 = 171.8 \div 172$ (Overall Score)

= Pass at Grade C = CEFR Level B2

Result	Overall Score	CEFR Level
Pass at Grade C	172	B2



➡ 「大学入試英語成績提供システム」において、大学入試センター及び大学に送られる成績データは、「Result」「Overall Score」「CEFR Level」の3つ及び技能別スコア「Reading」「Use of English」「Writing」「Listening」「Speaking」です。

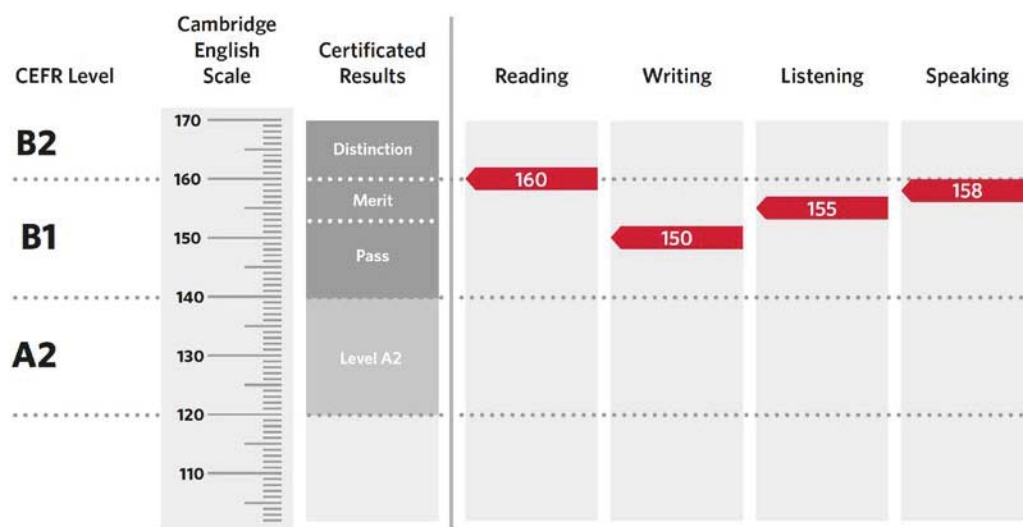
B1 Preliminary / B1 Preliminary for Schools

ある受検者の技能別スコアが Reading 160, Writing 150, Listening 155, Speaking 158
の場合、

スコア計算式 : $(160+150+155+158) \div 4 = 155.75 \div 156$ (Overall Score)

= Pass with Merit = CEFR Level B1

Result	Overall Score	CEFR Level
Pass with Merit	156	B1



➡ 「大学入試英語成績提供システム」において、大学入試センター及び大学に送られる成績データは、「Result」「Overall Score」「CEFR Level」の3つ及び技能別スコア「Reading」「Writing」「Listening」「Speaking」です。

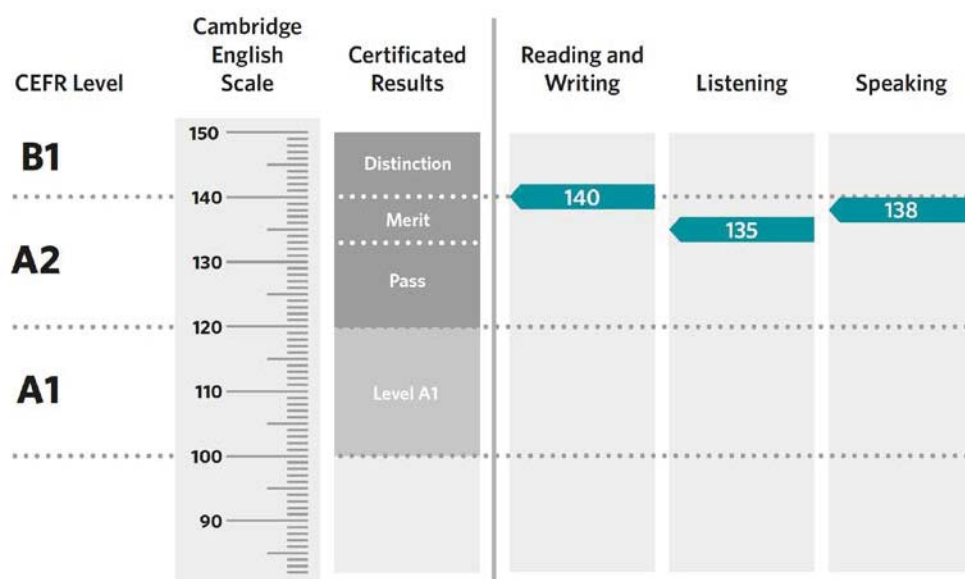
A2 Key / A2 Key for Schools

ある受検者の技能別スコアが Reading and Writing 140, Listening 135, Speaking 138
の場合、

スコア計算式 : $(140 \times 2 + 135 + 138) \div 4 = 138.25 \div 138$ (Overall Score)

= Pass with Merit = CEFR Level A2

Result	Overall Score	CEFR Level
Pass with Merit	138	A2



➡ 「大学入試英語成績提供システム」において、大学入試センター及び大学に送られる成績データは、「Result」「Overall Score」「CEFR Level」の3つ及び技能別スコア「Reading」「Writing」「Listening」「Speaking」です。

※ 「Reading」「Writing」の両方に「Reading and Writing」のスコアが入ります。